

第一期 自四月十日限

第二期 自三月四月五日限

第一號書式

發送元	回送先	直	接	費	間	接	費	手数料	運賃計	到達豫	備考
		汽車路	陸路	河海路	倉出積込	積替	荷揚(卸)届ケ倉入			日	何地マテ和船等積替
		毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛		

右見積候也
年 月 日

營業場所所在地

氏 名(何會社長又ハ代表者)印

備考

- 一 本見積價格ハ鹽百斤當トス
- 二 陸路ノミノ箇所ニ於ケル中繼費ハ直接費陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 三 鐵道廳ヨリ汽車賃割引ノ承認ヲ得タルモノニアリテハ其ノ割引額ヲ備考ニ記載スヘシ

第二號書式

鹽運送請負書

今般左ノ區間ニ回送セラル、鹽ノ運送方明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄拙者(弊社)へ御命令相成候ニ付テハ左ノ各項確守履行可致候

發送元	回送先	何專賣支局何出張所	何專賣支局何出張所
何專賣支局	何專賣支局	何專賣支局(又ハ單ニ引渡地名)	何專賣支局(又ハ單ニ引渡地名)

一 回送鹽ハ別紙見積書記載ノ運賃ヲ以テ豫定到達期日以内ニ回送先ニ引渡可申候但シ發送元ニ於テ倉出ヲ要セサル場合又ハ回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ見積書記載ノ金額中倉出費又ハ荷揚倉入費ハ不申受候

- 前項ノ運賃カ回送期間ニ依リテ異ナル場合ニハ鹽運送命令アリタル當時ノ請負金額ニ依リ豫定到達期日ハ其ノ運送命令ノ翌日より起算可致候
- 二 運送御命令ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ受取可申其ノ受取ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ發送元專賣官署ニ御届可致候
 - 三 鹽ノ荷揚引渡方ニ付テハ回送先ニ支店代理店又ハ代理人ヲ常置シ豫メ其ノ氏名ヲ回送先專賣官署ニ御届可致候
 - 四 運送ニ要スル運送具及假貯藏場等ハ御指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送品ニ十分ノ注意ヲ加ヘ鄭重ニ取扱可致候
 - 五 鹽受取後回送先へ引渡ヲ了スル迄ノ間ニ於テ鹽ノ亡失損傷等有之候節ハ不可抗力ニ因ルモノ又ハ御局ニ於テ鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキ減耗ナリト認メラルル數量ヲ除キ其ノ他原因ノ如何ヲ問ハス拙者(弊社)ニ於テ一切其ノ責ニ任シ左記ノ通御指定ノ期日迄ニ辨償可致候
 - 一 御局ニ於テ減失ノ事實ヲ確認セラレタル場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格
 - 二 前項以外ノ亡失ノ場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ニ百斤ニ付金一圓四十八錢ヲ加算シタルモノ
 - 三 損傷ノ場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ヨリ損傷鹽ノ等級及包裝ニ相當スル各價格ヲ控除シタル金額
 - 六 前項ノ場合ニ於ケル運賃ハ御局ニ於テ鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキ減耗ナリト認メラルル數量ヲ除キ亡失鹽ニ對シテハ一切請求致間敷候不可抗力ニ因レル場合モ同様タルヘキコト
 - 七 運送請負中運賃ノ割増ヲ請求スルハ左ノ場合ニ限り其ノ時々見積書ヲ差出可申其ノ他ハ何等ノ事故有之トモ決シテ割増請求不致候
 - 一 汽車、汽船ノ通路破損等ニ因リ故障ヲ生シタルトキ
 - 二 見積書ニ記載スル到達期日以内ニ特ニ速達ヲ要スルトキ
 - 八 道路新設、汽車、汽船路開通等ニ依リ運賃ニ減額ヲ生スヘキ場合ハ直ニ見積金額ヲ相當訂正可致候
 - 九 運賃ハ回送案内書一通毎ニ厘位切捨請求可致候
 - 十 運送請負ヲ廢止セムトスルトキハ少クモ六十日以前ニ申出御認可ヲ可受候
 - 十一 運送上正當ノ事由ナクシテ延著シタルトキハ其ノ到達豫定期日カ休日ナルト否トニ拘ハラズ其ノ翌日より起算シ一日毎ニ請負金額ノ千分ノ五ヲ懈怠金トシテ御命令ノ期日迄ニ納付可致候
 - 十二 前各項ニ違背候節ハ勿論其ノ他御局ノ御都合ニ依リ何時請負ノ全部又ハ一部解除ノ義御通牒相成候共聊異議申間敷候又此ノ場合ニ因リ生スル請負人ノ損害ニ付テハ何等請求不致候
- 右相違ナキヲ證スル爲保證人ト共ニ署名捺印候也

年 月 日

專賣局長官宛

運送請負人 住 所
何 某(何會社長又ハ代表者)印
保證人 住 所
何 某印

第三號書式

何月分鹽需要表
何月何日提出
(何月分トラフ指ハスルハ本支局長(何出張所長)トシテ)

産地等級	包裝種類	翌月中賣渡見込高 千斤	本月末現在見込高 千斤	差引翌月回送所要高 千斤	備考

備考

- 一 産地欄ニハ回送ヲ受ケムトスル鹽ノ發送元專賣支局名ヲ記載スルモノトス但シ同一支局内ニ於テ特ニ産地ノ希望アルトキハ其ノ由據所名ヲ記載スルヲ妨ケス
- 二 販賣官署所在地外ニ於テ引渡ヲ要スルモノハ別欄ニ改記シ當該欄ノ備考ニ其ノ引渡場所ヲ記載スル

第四號書式

何月分鹽回送表
何月何日提出
(何月分トラフ指ハスルハ本支局長トシテ)

支局名	等級	包裝種類	本在見込 千斤	現高 千斤	翌月見込 千斤	中込高 千斤	計 千斤	差引回送高 千斤	備考

備考

第五號書式

「本月中賣渡見込高」中其ノ所管内ノ消費用トシテ賣渡スヘキ見込高ハ等級、包裝別ニ備考欄ニ記入スル
何月何日回送命令第何號ニ對スル分
鹽回送計畫表
何月何日提出
何專賣支局長

發送元	回送先	等級	包裝種類	命令數量 斤	拂込出見量 斤	拂込出月 月	豫定日 日	到達日 日	備考

用紙 縦八寸五分 横六寸五分
トシテ左側ニ一寸
餘白ヲ存スル

用紙 縦八寸五分 横六寸五分
トシテ左側ニ一寸
餘白ヲ存スル

備考

- 一 本表ハ命令番號ノ異ナル毎ニ調整スヘシ
- 二 拂出見込數量ハ回送先ノ異ナル毎ニ小計ヲ付スヘシ

第六號書式

年 月 日 鹽 回 送 案 內 書 何 專 賣 支 局 (何 出 張 所) 物 品 會 計 官 吏 印

番 號 何 專 賣 支 局 長 (何 出 張 所) 長 宛

命令番號	運送命令日	發送月日	到達月日	回送諸費	運送請負人名				
發送元	回送先	等級	包裝種類	包裝箇數	全數	重量	百斤價格	全照價額	備

備考

- 一 到達豫定期日ハ現品ノ運送命令アリタル翌日ヨリ計算記載スヘシ
- 二 回送鹽船送ノ場合ニ於テハ積載船舶名ヲ備考欄内ニ記載スヘシ
- 三 運送請負人カ回送鹽ヲ數回ニ分割發送スル場合ニ於テハ發送月日及到達豫定期日欄ニ其ノ記入ヲ省略シ備考欄内ニ其ノ等級、包裝種類、數量別ニ發送月日、到達豫定期日及積載船舶名ヲ區分記載スヘシ

第七號書式

鹽 回 送 案 內 書 何 專 賣 支 局 出 張 所 長 宛

發送元	回送先	何月何日	何月何日	回送等級	包裝種類	包裝箇數	重量	包裝箇數	重量	回送未濟數量	請負人ニ到達豫定期日	備考

用紙 縦二寸八分 横一寸一寸 寸綴代
トシテ左側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

備考

- 一 本書ハ拂出ノ時々報告スヘシ
- 二 本書ハ發送元、回送先、命令番號ノ異ナル毎ニ別紙トスヘシ
- 三 發送元欄ニハ現ニ發送シタル局所名ヲ記載スヘシ
- 四 拂出數量ハ案内書ノ異ナル毎ニ掲記シ第二回目ヨリ累計ヲ朱書スヘシ

第八章 回送

- 五 到達豫定月日ハ現品ノ運送命令アリタル翌日ヨリ計算記載スヘシ
- 六 命令數量ニ對シ拂出ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ過不足アルトキハ其ノ數量竝ニ理由ヲ記載スヘシ
- 七 出張所ニ於テ取扱タルモノモ本所ニテ取纏メ報告スヘシ

第八號書式

番號	年	月	日	鹽	領	收	證	
				何事實支局(何出張所)物品會計官吏官氏名宛				
				何事實支局(何出張所)物品會計官吏官氏名 [㊟]				
回送案内書番號	等級	包裝種類	包裝箇數	數量	賠償價格	發送月日	到達月日	備考
				斤	圓	月 日	月 日	

備考

- 一 本書ハ回送案内書ノ異ナル毎ニ調製スヘシ
- 二 回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ備考欄ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第九號書式ノ一

回 送 鹽 損 害 調 査 書											
敬書發生ノ日時場所	發送元	回送先	案內號	等級	包裝種類	數量	賠償價格	發送月日	到達月日	備考	備考
						斤	圓	月 日	月 日		

備考

一 損害調査ノ場合ニ於ケル立會人ノ調印ハ運送請負人又ハ代理人カ亡失損傷ヲ認メタル旨ヲ記載シタル書面ヲ提出シタルトキニ限り之ヲ省略スルコトヲ得

何事實支局(何出張所)調査主任 氏 名 印
 何運送會社何支店 立會人 氏 名 印

年 月 日

用紙縱二寸八分 横二寸五分
 トシテ左側ニ寸ヲ
 餘白ヲ存スヘシ

第九號書式ノ二

鹽 回 送 延 著 調 査 書

何 事 賣 支 局 (何 出 張 所)

發 送 元 番 號	回 送 運 送 命 令 運 送 日	送 到 著 者 日 期	案 等 級	内 裝 類 別		送 延 裝 類 別	送 延 裝 類 數 量	請 金 額	運 送 請 負 人	請 證 運 送 人	請 證 日 數	請 證 金 額	事 故	請 證 日 數	請 證 金 額
				包 種	裝 類										

用 紙 美 濃 形 綴 代 ト シ 左 側 ニ 寸 ノ 餘 白 フ 貯 ス ン

備 考

一 到 達 豫 定 期 日 ニ 到 著 セ サ ル モ ノ ア ル ト キ ハ 案 内 書 一 通 毎 ニ 本 書 ヲ 調 製 シ 請 負 人 ノ 證 印 ヲ 微 シ 一 案 内 書 分 完 了 ノ 上 處 分 ス ヘ シ

第十號書式ノ一

何 年 度 自 何 月 何 日 回 送 延 著 者 調 査 報 告 何 事 賣 支 局 (何 出 張 所)

區 分	損 害 金 額	損 害 數 量	程 度	事 故	運 送 請 負 人	發 送 元	回 送 先	回 送 案 內 數 量
要 償	圓	斤						斤
小 計								
免 除 計								
小 計								
調 査 中					何 件			
調 査 中					何 件			
調 査 中					何 件			

用 紙 半 紙 形 綴 代 ト シ 左 側 ニ 寸 ノ 餘 白 フ 貯 ス ン

備 考

- 一 本 報 告 ハ 處 分 セ シ モ ノ 一 件 毎 ニ 掲 記 ス ル モ ノ ト ス
- 二 損 害 金 額 ハ 徵 收 金 額 ヲ 記 入 ス ル モ ノ ト ス 免 除 ニ 係 ル モ ノ ハ 朱 書 ス ヘ シ
- 三 損 害 數 量 ハ 亡 失 損 傷 ニ 確 リ タ ル 總 數 量 ヲ 掲 ゲ 損 傷 ノ 程 度 ニ ヨ リ 損 害 額 ヲ 異 ニ ス ル モ ノ ハ 程 度 欄 ニ 區 分 ス ヘ シ
- 四 事 故 欄 ニ ハ 其 ノ 日 時 發 生 ノ 場 所 ヲ 明 示 シ 且 其 ノ 事 故 ヲ 簡 約 ニ 記 載 ス ヘ シ
- 五 處 分 シ タ ル 事 實 ナ キ ト キ ハ 其 ノ 旨 ヲ 申 報 ス ヘ シ

第八章 回送

第十號書式ノ一

何年度自何月何日 何月何日 何年何月何日 何日 何時 何分 何秒
何年度 何月 何日 何時 何分 何秒
何年度 何月 何日 何時 何分 何秒

區 分	延著事由	件 數	總金額 圓	延著數量 斤	延著日數 日	運送請負人	回送案内數量 斤	徵收	小計	免除	小計	計	調查處分未済	調查中
								最長	最短					
備考														

用紙半紙形 綴代シテ左側ニナシ
餘白ヲ存スベシ

- 一 本報告ハ延著事由ノ異ナル毎ニ掲記スヘシ同一事由カ二人以上ノ請負人ニ在ルトキハ之ヲ區分スヘシ
- 二 第十號書式ノ一備考ニ乃至五ハ本書式ニ準用ス

專賣局販賣部長通牒丁第三七八五號（明治四十二年六月七日）
 今般鹽回送規程改正御達相成候處尙右回送方ニ關シテハ左記ノ事項御注意相成度 右依命
 追テ客年五月丁第二四八一號ノ二鹽回送取扱方ニ關スル 注意事項其ノ他從來ノ達 通牒ニシテ本通牒ト牴觸スルモノハ自今廢止セラレタル義ト御了知
 相成度シ

鹽回送取扱方ニ關スル注意事項

- 一 鹽ノ分配ニ付テハ需要ノ時期ヲ失セス且全國適當ニ按配スルコトヲ要ス而シテ右分配計劃ノ根基ハ一ニ鹽ノ需要高表及回送高表ニ依賴スルモノナルヲ以テ右兩表ノ提出ハ決シテ所定ノ期限ヲ愆ラス且出來ル丈ケ精確ヲ期スルコト
- 二 發送元官署ニ於テ鹽ノ回送命令ヲ接受シタルトキハ直ニ之カ發送ノ計畫ヲ爲スヘキハ勿論當該包裝鹽ノ收納ニ努メ回送先官署ニ於テ賣渡上支障ナキヲ期スルヲ要ス然レトモ毎月ノ回送命令鹽ハ其ノ月初ヨリ月末ニ至ルマテノ間ニ其ノ到達ヲ期スルハ事實上困難ナルヘキニ依リ回送先官署ニ於テモ毎月提出スヘキ鹽需要高表中翌月中賣渡見込高欄ニハ翌月十日頃ヨリ翌々月十日頃迄ニ賣渡スヘキ見込高ヲ記載スルコトトシ以テ販賣上支障ナキ様注意スルコト
- 三 鹽需要高表及回送高表提出後ニ於テ其ノ產地等級、包裝及數量等ノ變更ヲ爲スハ收納及販賣計畫上等ニ大影響アルヲ以テ努メテ之ヲ避クルヲ要ス但シ右提出後ニ於テ需給關係ニ著シク變動ヲ來シ萬已ムヲ得サルトキハ遲滯ナク其ノ變更ヲ稟申スルコト
- 四 回送鹽ノ發送ニ付テハ其ノ包裝完備ニシテ數量亦充實セル新規收納鹽ヲ送付スルヲ要ス尙成ルヘク收納ノ際倉入セズシテ直ニ回送船車ニ積載スルコト

トフ勉ムルコト

五 鹽ノ回送ハ一切保險ニ付セス從テ海運上成ルヘク老朽船ニ積込マシメサル様注意スルヲ要ス尙若シ保險ニ付セサル結果回送上ニ影響ヲ及ボスコトアラハ本局ニ之ヲ報告スルコト

六 鹽ノ回送上船練若ハ貨車ノ配給ニ付テハ運送請負人ヲ督勵スヘキハ勿論發送元官署ニ於テモ常ニ關係局所ニ交渉シテ精密ノ調査ヲ遂ケ船積及配車ノ圓滑ヲ圖ル様注意スルコト

七 回送鹽船積ノ際ハ當該官吏立會ノ上其ノ積載上ニ付十分ノ注意ヲ施シ特ニ左ノ點ニ付留意スルコト

(イ) 官費回送鹽ト民費回送鹽トハ努メテ其ノ積合セテ避ケ若シ已ムヲ得ス混載スル場合ト雖豫メ船艙内ニ相當區劃ヲ設ケ官鹽ノ下積ヲ避ケ殊ニ鐵材、石炭等其ノ他鹽ヲ害スヘキ虞アル重量品ノ積合セハ絕對ニ之ヲ避ケシムルコト

(ロ) 回送鹽ノ積込ニ際シテハ豫メ當該船舶ノ普通搭載力ヲ調査シ鹽ノ積載ハ必ス極力積ニ依ラスシテ普通搭載力ニ依ラシムルコト

(ハ) 汽船ノ大ナルモノハ鹽ノ累積ヲ高メ包裝ヲ損傷スルコト及貨物積合せノ爲各地ニ寄港シ回送鹽ノ延著ヲ來シ易キトニ依リ汽船積ノ場合ハ成ルヘク千噸内外ノ船舶ニ依ラシムルコト

八 回送鹽ノ汽船積ノ運送ニ付テハ現行請負契約上一定ノ積載數量以下ノ場合ニ於テ其ノ運賃ノ割増ヲ附スルモノアルノミナラス之カ制限ヲ撤廢セシメタル向ニ於テモ運送上船練至難ノ爲兎角回送不能ヲ生スルノ虞アルニ依リ毎月提出ニ係ル鹽需要高表ニハ一支局回送高ハ成ルヘク四十萬斤位ヲ最少限度ニ申出ツルコト

九 回送鹽汽車積運送ノ際ハ發送元官署名、回送案内書番號、積込年月日、等級、包裝區分、包裝箇數ヲ記載シタル入記票ヲ便宜貨車中見易キ箇所ニ貼付セシムルコト

十 回送鹽運送監督ニ付テハ明治四十二年五月丁第三〇一一號煙草回送ニ關スル規程第五章運送監督ニ關スル規定ヲ準用スルコト

十一 各販賣官署及引渡場所ニ於テ徵收スヘキ回送費ハ鹽回送規程第一條ニ依リ定メタル關係發送元官署ヨリノ平均額ニ依リ本局ニ於テ相當割引ノ上之ヲ決定シ當該販賣官署ニ通知スヘシ但シ同一賠償區域内ノ回送ニ係ルモノ若ハ逆送ニ係ルモノノ回送費ハ別ニ之ヲ徵收セサルコト

十二 回送鹽ノ引渡方ニ於テハ成ルヘク船渡若ハ貨車渡ノ方針ヲ採リ受渡相互ノ利便ヲ圖ルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ荷揚倉入費ヲ徵收セサルコト

十三 販賣官署ヨリ元賣捌人及小賣人所在地迄ノ回送費ハ買受人ニ於テ之ヲ支辨セシムルコト

十四 發送元官署ニ於テハ回送鹽運賃臺帳ヲ調製シ置キ鹽ノ到達豫定期間及運賃ノ異動沿革ヲ明確ナラシメ參考ノ資料ニ供スルコト

十五 博覽會及共進會出品用トシテ一種類ニ付十斤以内鑑定研修其ノ他參考標本用トシテ一種類ニ付二斤以内ノ鹽ヲ各支部局内ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ回送命令ノ申請及鹽回送規程ノ拂出計畫其ノ他受拂ニ關スル報告ハ之ヲ省略スルコト

回送鹽ノ賣渡上販賣官署ヲ經由シテ鹽ヲ賣下クルトキハ地方ニ依リテハ之カ爲逆送トナリ二重ノ運搬費ヲ要シ買受人ノ不便不利ハ勿論爲ニ鹽價騰貴ノ傾向アルヲ以テ此等地方供給ノ簡便並鹽價ノ引下ヲ期スル爲明治四十二年七月ニ至リ更ニ販賣官署所在地外主要消費地ヲ引渡場所ニ指定シ該地方買受人ノ請求ニ依リ一定數量以上ノ鹽ヲ官費回送シ到著次第直ニ之ヲ引渡スノ途ヲモ開キタリ該引渡手續等ハ左ノ如シ

專賣局長官達丁第三七七〇號 (明治四十二年六月二日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽ノ引渡手續左ノ通相定メ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續

第一條 左記ノ鹽販賣官署ハ鹽買受人ノ請求ニ依リ其ノ賣渡スヘキ鹽ヲ左記ノ場所ニ於テ引渡スコトヲ得

鹽販賣官署名	引渡場所	鹽販賣官署名	引渡場所
東京專賣支局	神奈川縣橫濱市	金澤專賣支局	福井縣福井市
東京專賣支局	神奈川縣三浦郡浦賀町	神戸專賣支局	大阪府堺市
三春專賣支局	山形縣飽海郡酒田町	撫養專賣支局	高知縣高岡郡須崎町
小出雲專賣支局	長野縣上伊那郡伊那富村辰野	鹿兒島專賣支局	宮崎縣宮崎郡宮崎町
名古屋專賣支局	靜岡縣庵原郡江尻町		

第二條 前條ノ場所ニ於テ引渡スヘキ鹽ノ發送元官署運送方法及一回ノ引渡高ハ別表ニ依ル

第三條 本規程ニ依リ鹽ノ引渡ヲ爲スハ買受人カ鹽賣捌規則第十四條第二項ニ依リ鹽代金及

回送費納付ノ擔保トシテ豫メ擔保物件ヲ鹽販賣官署ニ提供シタル場合ニ限ル

第四條 第一條ノ場所ニ於テ鹽ノ引渡ヲ受ケムトスル者ニ對シテハ鹽賣捌規則第十三條ニ依

ル賣渡請求書ニ其ノ場所並指定時日ニ鹽ヲ引取ラサルトキハ荷揚倉入及保管ニ要セシ實費

ヲ支拂フヘキ旨ヲ附記セシムヘシ

第五條 回送鹽發送元官署ニ於テ第一條ノ場所ニ送付スヘキ回送命令ヲ受ケタルトキハ運送

請負人ヲシテ引渡場所ニ於ケル代理人ニ對シ到達豫定時日ヲ通報セシメ且右代理人ヨリ直

ニ其ノ旨ヲ鹽販賣官署ニ申告セシムヘシ到達豫定時日ニ變更アリタルトキ亦同シ

第六條 鹽販賣官署前條ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ買受人ニ對シ鹽ノ引渡時日ヲ通知シ且

其ノ時日ニ當該官吏ヲ同地ニ出張セシメ鹽ノ賣渡及其ノ出納命令ヲ代決セシムヘシ

第七條 回送鹽引渡場所ニ到達シタルトキハ出張官吏ニ於テ賣渡及出納ノ手續ヲ終ヘ運送請

負人竝買受人ヲ立會セシメ積載船車ニ於テ現品ノ受渡ヲ爲スヘシ

第八條 回送鹽引渡ニ際シ買受人立會セサルカ又ハ當初請求シタル鹽ノ全部若ハ一部ノ引取

ヲ肯セサル爲鹽ヲ引渡スコト能ハサルトキハ直ニ之ヲ保管寄託ニ付スヘシ

前項ノ必要ニ應スル爲販賣官署ニ於テハ豫メ荷揚倉入ノ請負及保管寄託ノ契約ヲ爲シ置ク

コトヲ要ス

第九條 出張官吏其ノ用務ヲ終了シ歸廳シタルトキハ一切ノ書類ヲ提供シテ販賣官署長ニ復命スヘシ

第十條 本規程ニ定ムルモノノ外鹽ノ回送、賣渡及出納保管ニ關シテハ一般ノ規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第十一條 本規程ノ要旨ハ便宜ノ方法ヲ以テ鹽買受人ニ周知セシムヘシ

引渡場所	發送元	官署	運送方法	一回ノ引渡高合計
横濱市	赤穂、味野、尾道、阪出 撫養	汽船	船	二十萬斤以上
浦賀町	撫養	帆	船	十萬斤以上
酒田町	尾道 三田尻	帆汽	船	四十萬斤以上
辰野	赤穂、尾道	汽	車	一萬千斤以上
江尻町	赤穂、味野、尾道 撫養	帆汽	船	一萬千斤以上
福井市	赤穂、尾道、三田尻	汽	車	一萬千斤以上
堺市	赤穂、味野、阪出、撫養	帆	船	五萬斤以上
須崎町	撫養	帆	船	五萬斤以上
宮崎町	三田尻、阪出	帆	船	十萬斤以上

專賣局販賣部長通牒丁第三七七〇號ノ二（明治四十二年六月二日）

今般鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續御達相成候處尙右引渡方ニ關シテハ左記ノ事項御注意相成度 右依命

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡ニ關スル注意事項

一 第一條ノ引渡場所ニ鹽ノ回送ヲ命セラレタルトキハ其ノ販賣官署ニ送付スヘキ案内書ハ特ニ至急發送スルヲ要ス他ノ鹽ト同一案内書ニ記入スルカ爲
運延スルノ虞アルトキハ引渡場所ニ送付スル分ニ限り分割調製シテ成ルヘク速ニ發送スヘシ

二 回送鹽ノ引渡請求者カ其ノ引渡地以外ニ在住スルモノナルトキハ成ルヘク其ノ地ニ代理人ヲ置カシメ回送鹽ノ到達シタルトキ遲滞ナク引渡ヲ了シ得
ヘキ様注意スヘシ

三 第五條ニ依リ運送請負人ヨリ其ノ代理人ニ又代理人ヨリ販賣官署ニ到着時日ヲ通報セシムルハ成ルヘク電報ヲ用ヒシムヘシ

四 第六條ニ依リ出張官吏ヲシテ鹽ノ賣渡及出納命令ヲ代決セシムルニ付テハ出納命令簿ハ便宜別冊ト爲シ置キ鹽賣渡請求書ト共ニ引渡場所ニ持參セシ
ムヘシ

五 回送鹽引渡ニ際シ買受人カ立會セサルカ又ハ當初請求シタル鹽ノ全部又ハ一部ノ引取ヲ肯セサルトキハ不得已倉入セサルヘカラサルコトナリ管ニ
其ノ手數並失費ヲ要スルノミナラス一旦倉入シタル鹽ハ自然賣渡上ノ困難アルヘキニ依リ買受人ニ對シテハ豫メ不參又ハ違約等ナキ様深ク注意ヲ加
ヘ事實ニ於テハ倉入等ノ手數ナカラシムルコトヲ期スヘシ

境派出所廢止ニ伴ヒ米子出張所ニ於テ回送鹽賣渡事務ヲ開始スルト同時ニ境町ヲ引渡場所ニ指
定スルノ外運送請負人ヲシテ回送鹽ノ引取引渡ヲ正確ナラシムル爲左ノ如ク改定シタリ

專賣局長官達丁第五四四一號（明治四十二年九月二十二日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十二年十月一日ヨリ之ヲ

施行ス

第一號表中神戸專賣支局大阪出張所ノ次ニ左ノ通追加ス

高粱專賣支局米子出張所

鳥取縣西伯郡境町

第二條別表中堺市ノ次ニ左ノ通追加ス

境	町	尾道、三田尻	帆	船	十萬斤以上
---	---	--------	---	---	-------

專賣局長官達丁第五五三二號（明治四十二年九月二十八日）

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表回送先官署欄中「境」ヲ「米子」ニ改ム

第一號書式鹽運賃見積書備考ニ左ノ一項ヲ加フ

四 到達豫定期間ハ船車渡ノ分ト倉庫渡ノ分トニ區分記載スヘシ

第二號書式鹽運送請負書第二項ヲ左ノ如ク改ム

二 運送御命令ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ受取可申若シ五日以内ニ之ヲ引取ラサルトキハ一

日毎ニ請負金額ノ千分ノ十ヲ懈怠金トシテ御命令ノ期日迄ニ納付可致候

前項ノ受取ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ發送元專賣官署ニ御

届可致候

第六號書式鹽回送案内書備考一及第七號書式鹽回送拂出報告備考五ヲ左ノ如ク改メ第六號書式鹽回送案内書備考三中「數量別ニ發送月日」ノ下ニ「實際到達シ得ヘキ見込月日」ヲ加フ

到達豫定期日ハ現品ノ運送命令アリタル翌日ヨリ計算記載スルノ外尙其ノ實際到達シ得

ヘキ見込月日ヲ同欄内ニ朱書スヘシ

回送鹽引渡場所ニ於テ鹽ノ引渡ヲ爲スハ買受人カ鹽代金及回送費納付ノ擔保トシテ豫メ擔保物件ヲ鹽販賣官署ニ提供シタル場合ニ限ラレタルモ右施行後ノ實況ニ徴シ鹽代金及回送費即納又ハ延納ノ場合ニ於テモ之カ引渡ノ便法ヲ開クト同時ニ上級鹽需給ノ均衡ヲ圖ルカ爲左ノ如ク改正シタリ

專賣局長官達丁第六二七五號（明治四十二年十一月二十六日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條別表中辰野及境町ノ欄發送元官署中「味野」ヲ加フ

第三條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ鹽販賣官署ハ第一條ノ場所又ハ其ノ附近ニ金庫アル場合ニ限リ當該金庫ヲ指定シテ鹽代金及回送費ヲ即納セシメ又ハ鹽賣捌規則第十四條第一項ニ依ル延納ヲ許可スルコトヲ得

專賣局長官達丁第六二九八號（明治四十二年十一月二十九日）

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中松本、米子及熊本ノ各欄發送元官署中「味野」ヲ加フ

專賣局販賣部長通牒丁第六二七五號ノ二（明治四十二年十一月二十六日）

今般鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續第三條ヲ改メ爾後鹽代金及回送費即納又ハ延納ノ場合ニ於テモ鹽ノ引渡ヲ爲スコトニ決定相成候ニ付テハ右實行ニ關シテハ買受人ヲシテ買受違約又ハ引取延延等ナカラシムル機特ニ注意ヲ施シ回送鹽ノ引渡上遺漏ナキヲ期セラレ度シ

運送請負人ノ現品引取延延ニ對スル制裁トシテ定メタル懈怠金率ハ次年度運送契約上之カ改定ヲ要スルト將來請負人ノ損益計算ヲ查覈シテ運賃率決定ノ參考ニ資スルノ要アルカ爲左ノ如ク改定シタリ

專賣局長官達丁第九五五號（明治四十三年三月十八日）

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二號書式鹽運送請負書第二項中「千分ノ十」ヲ「千分ノ五」ニ改メ第十一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ

第十二項ヲ第十三項ニ改ム

十二 鹽運送ニ關スル一切ノ帳簿書類及收支計算等ハ御局ノ必要ニ應シ何時ニテモ検査相成不苦候

第一回製鹽地整理ニ伴ヒ供給ノ不便又ハ鹽價騰貴ノ傾向アル地方其ノ他從來鹽價割高ノ地方ニ對スル鹽供給上ノ必要ヲ認メ引渡場所中平、釜石、鰺、夷、四日市、岐阜、金澤、下田、安藝、長崎、島原、東南方、湊及福島ノ十四箇所ヲ追加シ引渡手續中左ノ如ク改定シタリ

專賣局長官達丁第三四六六號 (明治四十三年九月二十六日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス第一條表ヲ左ノ如ク改ム

鹽販賣官署名	引渡場所	鹽販賣官署名	引渡場所
東京專賣支局	神奈川縣橫濱市	名古屋專賣支局敦賀出張所	福井縣福井市
東京專賣支局	神奈川縣三浦郡浦賀町	神戸專賣支局大阪出張所	大阪府堺市
東京專賣支局	福島縣石城郡平町	高梁專賣支局米子出張所	鳥取縣西伯郡境町
三春專賣支局土崎出張所	山形縣飽海郡酒田町	撫養專賣支局高知出張所	高知縣幡多郡下田村
三春專賣支局仙臺出張所	巖手縣上閉伊郡釜石町	撫養專賣支局高知出張所	高知縣高岡郡須崎町
三春專賣支局青森出張所	青森縣三戸郡鮫村	撫養專賣支局高知出張所	高知縣安藝郡安藝町
小出專賣支局新潟出張所	新潟縣佐渡郡兩津町	熊本專賣支局	長崎縣長崎市
小出專賣支局松本出張所	長野縣上伊那郡伊那富村長野	熊本專賣支局	長崎縣南高來郡湊町
名古屋專賣支局	三重縣四日市市	鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣川邊郡東南方村
名古屋專賣支局	岐阜縣岐阜市	鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣日置郡西市來村湊町
名古屋專賣支局	静岡縣庵原郡江尻町	鹿兒島專賣支局	宮崎縣宮崎郡宮崎町
名古屋專賣支局	石川縣金澤市	鹿兒島專賣支局	宮崎縣南那珂郡福島村

第二條別表ヲ左ノ如ク改ム

引渡場所	發送元官署	運送方法	一回ノ引渡高合計
橫濱市	赤穂、味野、尾道、阪出 撫養	汽船	二十萬斤以上
浦賀町	撫養	帆船	十萬斤以上
平町	味野	汽車	一萬千斤以上
酒田町	尾道 三田尻	帆船	四十五萬斤以上
釜石町	赤穂、味野	帆船	四十萬斤以上
鮫村	阪出	帆船	四十萬斤以上
兩津町	尾道	汽船	三十萬斤以上

引渡場所	發送元官署	運送方法	一回ノ引渡高合計
辰野	赤穂、味野、尾道	汽車	一萬千斤以上
四、日市	味野、尾道 赤穂、味野、尾道	汽車	一萬五千斤以上
岐阜市	赤穂、味野、尾道	汽車	一萬千斤以上
江尻町	赤穂、味野、尾道 撫養	汽船	一萬千斤以上
金澤市	味野、尾道	汽車	一萬千斤以上
福井市	赤穂、尾道、三田尻	汽車	一萬千斤以上
堺市	赤穂、味野、阪出、撫養	船	五萬斤以上
境町	味野、尾道、三田尻	船	十萬斤以上
下田村	撫養	船	二萬斤以上
須崎町	撫養	船	五萬斤以上
安藝町	撫養	船	五萬斤以上
長崎市	三田尻	船	十萬斤以上
湊町	三田尻	船	十萬斤以上
東南方村	三田尻、阪出	船	十萬斤以上
湊町	三田尻、阪出	船	十萬斤以上
宮崎町	三田尻、阪出	船	十萬斤以上
福島村	三田尻、阪出	船	十萬斤以上

四日市ニ對スル鹽ノ運送方法ヲ加除スルノ要アルト引渡場所ニ倉庫ヲ設備セル箇所アルトニ依
 リ左ノ改定ヲ爲セリ

專賣局長官達丁第三八九七號 (明治四十三年十月三十一日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十三年十一月一日ヨリ之
 ヲ施行ス

第二條別表中四日市市ノ欄中「味野尾道汽船五十萬斤以上」ヲ削リ「撫養帆船十萬斤以上」ヲ加フ
專賣局長官達丙第四九九六號（明治四十三年十一月十五日）

明治四十三年六月丁第三七七七〇號鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正ス

第四條 第一條ノ場所ニ於テ鹽引渡ヲ受ケムトスル者ニ對シテハ鹽賣捌規則第十三條ニ依ル
賣渡請求書ニ其ノ場所竝指定時日ニ鹽ヲ引取ラサルトキハ鹽販賣官署ノ指定スル荷揚倉入
及保管費用ヲ支拂フヘキ旨ヲ附記セシムヘシ但シ在庫鹽引渡ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

專賣局計理販賣部長通牒丙第四九九七號（明治四十三年十一月十五日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル引渡鹽ヲ指定時日ニ引取ラサル者ニ對スル保管料等ノ徵收方ハ左ノ通御取扱相成度 依命

- 一 官借庫ノ設備ナク保管寄託ノ場合ニ於テハ荷揚倉入及保管ニ要セシ實費ヲ徵收ス
- 二 官借庫ノ設備アル場合ニ於テハ明治四十二年二月告示第十五號ヲ準用シ倉入ノ日ヨリ一日金二錢ノ割合ヲ以テ保管料ヲ徵收シ荷揚倉入ノ費用ハ實費ヲ徵收ス

鹽供給上ノ實驗ニ徵シ引渡場所ノ變更及増設ノ必要ヲ認メ左ノ如ク改定シタリ

專賣局長官達丁第七〇號（明治四十四年一月十一日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左之通改正シ明治四十四年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中三春專賣支局仙臺出張所ノ次ニ

三春專賣支局仙臺出張所

巖手縣下閉伊郡宮古町

ヲ高粱專賣支局米子出張所ノ次ニ

高粱專賣支局米子出張所

島根縣那賀郡濱田町

ヲ加フ

第二條別表中釜石町ノ次ニ

宮古町	赤穂、味野	汽	船	四十萬斤以上
-----	-------	---	---	--------

ヲ境町ノ次ニ

濱田町	三田尻	帆	船	十萬斤以上
-----	-----	---	---	-------

ヲ加フ

專賣局長官達丁第八〇一號(明治四十四年三月十一日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中三春專賣支局青森出張所欄中駿村ヲ八戸町ニ改メ鹿兒島專賣支局鹿兒島縣日置郡西市來村ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣出水郡阿久根村			
---------	-------------	--	--	--

第二條別表中釜石町及宮古町欄中發送元官署ニ阪出ヲ加ヘ、駿村ヲ八戸町ニ改メ、湊町ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

阿久根村	三田尻、阪出	帆	船	十萬斤以上
------	--------	---	---	-------

從來ノ實驗ニ鑑ミ鹽ノ運送請負契約期間ヲ一箇年度ニ改ムルノ要アルト其ノ他回送鹽引渡及損害處分等ニ關シ其ノ取扱方ヲ有效且簡便ナラシムル爲左ノ改正ヲ爲シタリ

專賣局長官達丁第九二一號(明治四十四年三月二十七日)

明治四十二年五月丁第三四二三號鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中「仙臺」土崎「名古屋」熊本「發送元官署欄中」阪出「ヲ及」函館「小樽」發送元官署欄中「味野」ヲ「門司」欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

高 知 撫 養

第五條ヲ左ノ如ク改ム

鹽運送請負契約ハ毎年度之ヲ更新スルモノトス

第八條中「專賣支局及其ノ出張所間」ヲ「專賣支局、出張所及回送鹽引渡場所間」ニ改ム

第十三條ヲ左ノ如ク改ム

運送請負人カ一運送命令以上ノ鹽ヲ一船車ニ積載シテ回送スル場合ニ於テハ其ノ鹽ノ全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル後直ニ第六號書式ノ回送案内書ヲ回送先官署ニ送付シ同時ニ第七號書式ノ報告書ヲ本局ニ提出スヘシ

運送請負人カ一運送命令ノ鹽ヲ二船車以上ニ分割回送スル場合ニ於テハ其ノ引渡ノ都度一船車分毎ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

回送案内書送付後回送鹽ノ亡失シタルモノアルトキハ更正案内書ヲ回送先官署ニ送付スヘシ

第十四條中「其ノ月中ニ」ノ次ニ「回送ノ見込立タサルモノ又ハ」ヲ加フ

第十五條中「到着シタル」ヲ「ノ引渡ヲ受クル」ト改ム

第十六條中「到達豫定期日ヲ過キ到達」ヲ「引渡豫定期日ヲ過キ引渡」ニ改メ第一項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

前項亡失損傷ノ場合ニ於テ運送請負人ノ請求アルトキハ現品ノ代償ヲ爲サシムルコトヲ得
 此ノ場合ニ於テハ損害處分ノ手續ヲ要セス
 運送請負人ニ於テ回送鹽ノ引取ヲ遅延シタルモノアリタルトキハ發送元官署ハ第一項ニ準
 シ處理スヘシ
 末項中前項ヲ前三項ニ改ム

第十九條中及延著ヲ引渡及引取遅延ニ改ム
 第一號書式中到達豫定期間ヲ引渡豫定期間ニ改ム
 第二號書式ヲ左ノ如ク改ム

今般左ノ區間ニ回送セララル鹽ノ運送方明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄弊社へ御命令
 相成候ニ付テハ左ノ各條確守履行可致候

發送元	回送先
何專賣支局	何專賣支局何出張所
何專賣支局何出張所	何專賣支局(又ハ單ニ引渡地名)

第一條 回送鹽ハ別紙見積書記載ノ運賃ヲ以テ引渡豫定期日以内ニ回送先ニ引渡可申候但シ
 發送元ニ於テ倉出ヲ要セサル場合又ハ回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ見積書記載ノ金額中
 倉出費又ハ荷揚倉入費ハ不申受候

別紙見積書記載ノ運賃カ回送期間ニ依リテ異ナル場合ニハ鹽運送命令アリタル當時ノ請負
 金額ニ依ルヘク又引渡豫定期日ハ其ノ現品引取終了ノ翌日ヨリ起算可致候
 運賃中汽車輸送ニ對スル運賃ノ直接費ハ御局ニ於テ直接鐵道院ニ仕拂可相成コトヲ承諾仕

候

第二條 運送御命令ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ引取可申若シ命令ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ引取
ラサルトキハ不可抗力ノ場合ヲ除ク外其期間滿了ノ翌日ヨリ一日毎ニ請負金額ノ千分ノ五
ヲ懈怠金トシテ御指定ノ期日迄ニ納付可致候

前項ノ引取ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ發送元專賣官署ニ御届可
致候

第三條 鹽ノ荷揚引渡方ニ付テハ回送先ニ支店代理店又ハ代理人ヲ常置シ豫メ其ノ氏名ヲ回
送先專賣官署ニ御届可致候

第四條 運送ニ要スル運送具及假貯藏場等ハ御指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送品ニ充分ノ注意ヲ
加ヘ鄭重ニ取扱可致候

第五條 鹽引取後回送先ヘ引渡ヲ了スル迄ノ間ニ於テ鹽ノ亡失損傷等有之候節ハ不可抗力ニ
因ルモノ、船舶ノ海難ニシテ弊社若ハ弊社使用人ノ故意過失ニ因ラサルモノ又ハ御局ニ於テ
鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキ減耗ナリト認メラルル數量ヲ除キ其ノ他原因ノ如何ヲ問ハス
弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ御指定ノ期日迄ニ左記ノ通辨償可致候但シ不可抗力又ハ海難
以外ノ場合ニ於テ通常生スヘキ減耗以上ノ減耗又ハ亡失アリタルトキハ通常減耗ニ付テモ
亦其ノ責ニ任スヘク候

一 御局ニ於テ減失ノ事實ヲ確認セラレタル場合ハ運送命令アリタル當時ノ鹽賠償價格及
一旦回送シタル鹽ニ在リテハ百斤ニ付金二十三錢五厘

二 前項以外ノ亡失ノ場合ハ一旦回送シタル鹽ト否トニ拘ハラズ其ノ鹽ノ政府ヨリ元賣捌
人ニ賣渡價格ニ其ノ徴收回送費ニ相當スル金額ヲ加算シタルモノ

三 損傷ノ場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ヨリ損傷鹽ノ等級及包裝ニ相當スル各價格ヲ控除シタル金額

第六條 前條ノ場合ニ於テ弊社カ辨償ノ責ナキ通常減耗ヲ除キ其ノ他ノ減耗又ハ亡失鹽ニ對スル運賃ハ一切請求致間敷ハ勿論御局ニ於テ其ノ運賃ヲ第一條第三項ニ依リ鐵道院ニ支拂相成タルトキハ之ニ相當スル金額ヲ御指定ノ期日迄ニ御局ニ納付可仕候

第七條 運送請負中運賃ノ割増ヲ請求スルハ左ノ場合ニ限り其ノ時々見積書ヲ差出可申其ノ他ハ何等ノ事故有之トモ決シテ割増請求不致候

一 汽車、汽船ノ通路破損等ニ因リ故障ヲ生シタルトキ
二 見積書ニ記載スル引渡豫定期間以内ニ特ニ速達ヲ要スルトキ

第八條 道路新設、汽車、汽船路開通等ニ依リ運賃ニ減額ヲ生スヘキ場合ハ直ニ見積金額ヲ相當訂正可致候

第九條 運賃ハ回送案内書一通毎ニ厘位切捨請求可致候

第十條 運送請負ヲ廢止セントスルトキハ少クとも六十日以前ニ申出御認可ヲ可受候

第十一條 運送上正當ノ理由ナクシテ引渡ヲ遲延シタルトキハ其ノ引渡豫定期日カ休日ナルト否トニ拘ハラス其ノ翌日ヨリ起算シ一日毎ニ請負金額ノ千分ノ五ヲ懈怠金トシテ御指定ノ期日迄ニ納付可致候

第十二條 亡失、損傷、引渡又ハ引取遲延ニ關スル事由書及證憑書類ハ御指定ノ期日迄ニ必ス提出可致若シ其ノ期日迄ニ提出セサルトキハ御局ニ於テ適宜御決定相成候共聊カ異議申間敷候

第十三條 鹽運送ニ關スル一切ノ帳簿書類及收支計算等ハ御局ノ必要ニ應シ何時ニテモ検査

相成不苦候

第十四條 前各項ニ違背候節ハ勿論其ノ他御局ノ御都合ニ依リ何時請負ノ全部又ハ一部解除ノ義御通牒相成候共聊カ異議申間敷候又此ノ場合ニ因リ生スル弊社ノ損害ニ付テハ何等請求不致候

右相違ナキヲ證スル爲保證人ト共ニ署名捺印候也

年 月 日

住 所

運送請負人 何會社長又ハ代表者 印

住 所

保 證 人 何

某 印

專賣局長官宛

第三號書式ニ左ノ備考ヲ加フ

三 「本月末現在見込高中包裝汚損其ノ他損傷等ノ爲其ノ儘賣渡ノ見込ナキモノアルトキハ

其ノ數量ハ當該相當欄ニ内書朱書スヘシ

四 備荒用散鹽ハ本表ニ掲記ヲ要セサルモノトス

五 本表ニハ產地別ニ小計及合計ヲ附シ尙合計ニハ等級、包裝別ニ其ノ内譯ヲ附スヘシ

第四號書式中專賣支局又ハ出張所名ヲ專賣支局、出張所又ハ派出所名ニ改メ左ノ備考ヲ加フ

二 「本月末現在見込高中包裝汚損其ノ他損傷等ノ爲其ノ儘回送ニ適セサルモノアルトキハ

其ノ數量ヲ當該相當欄ニ内書朱書スヘシ

三 備荒用散鹽ハ本表ニ掲記ヲ要セサルモノトス

四 本表ニハ局所別ニ小計及合計ヲ附シ尙合計ニハ等級、包裝別ニ其ノ内譯ヲ附スヘシ
 第五號書式中「拂出見込數量」ヲ引渡見込數量ニ「拂出豫定月日」ヲ引渡豫定月日ニ改メ左ノ備考ヲ加フ

三 「到達豫定月日」欄ニハ積載船舶又ハ貨車ノ回送先港灣又ハ驛ニ到達スヘキ見込月日ヲ記載スヘシ

第六號書式中「運送命令月日」欄ヲ削リ「發送月日」ヲ運送請負人ニ引渡月日ニ備考ヲ左ノ如ク改ム

一 一回送案内書ニ記載スヘキ回送鹽ヲ數次ニ分割引渡ヲナシタルトキハ「請負人ニ引渡月日」欄ニハ其ノ引渡最終ノ月日ヲ記載スヘシ

二 回送鹽船送ノ場合ニ於テハ積載船名ヲ備考欄内ニ記載スヘシ

三 本書中散鹽貯藏用ニ供スヘキ分ハ備考欄内ニ其ノ旨記載スヘシ

四 第五號書式備考三ハ本書式ニ準用ス

第七號書式中「何專賣支局」ノ次ニ「何出張所」ヲ加ヘ「拂出高」ヲ「引渡高」ニ「回送未濟數量」ヲ「引渡未濟數量」ニ備考ヲ左ノ如ク改ム

一 本書ハ案内書ノ異ナル毎ニ調製シ即時報告スヘシ但シ引渡數量ハ第二回目ヨリ累計ヲ朱書スヘシ

二 命令數量ニ對シ引渡ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ過不足アルトキハ其ノ數量竝事由ヲ記載スヘシ

三 第五號書式備考三及第六號書式備考二竝ニ三ハ本書式ニ準用ス

第八號書式中「發送月日」ヲ「請負人ニ引渡月日」ニ備考ヲ左ノ如ク改ム

一 本書ハ回送案内書ノ異ル毎ニ即日調製送付スヘシ但シ一案案内書分ニシテ分割受入ヲナシタルトキハ其ノ全部ノ受入ヲ了シタル上受入月日ノ異ナル毎ニ當該相當欄ニ區分掲

記シ其ノ月日ヲ備考欄内ニ記載スヘシ

二 本書中年月日欄ニハ受入ノ月日ヲ記載スヘシ

三 回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ備考欄内ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

四 「到達月日欄ニハ積載船舶又ハ貨車ノ實際回送先港灣又ハ驛ニ到達シタル月日ヲ記載スヘシ

第九號書式ノ一ヲ別紙ノ如ク改メ同書式ノ二中「鹽回送延著調査書」ヲ「回送鹽引渡遅延調査書」ニ、

「到達豫定月日」ヲ「引渡豫定月日」ニ、「到達月日」ヲ「引渡月日」ニ、備考ヲ左ノ如ク改メ更ニ同書式ノ三及

四ヲ別紙ノ如ク追加ス

一 引渡豫定月日欄ニハ請負人カ回送先官署ニ鹽ノ引渡ヲナスヘキ豫定月日ヲ記載スルモノトス

二 一回送案内書分ニシテ引渡豫定期日内ニ引渡ヲ受ケサルモノアリタルトキハ現品受入

毎ニ本書ヲ調製シ請負人ノ證印ヲ徴シ一案内書分全部到着ノ上處分スヘシ

第十號書式ヲ別紙ノ如ク改ム

第九號書式ノ一

回送鹽損傷調査書

年 月 日

何專賣支局(何出張所)

被害發 生ノ日 時場所	回送案内			損傷			辨別			備考
	案内 番號 (回送先)	發送元 等級	包裝 種類 數量	包裝 種類 數量	賠償 價格	損傷 等級 賠償價格	差引 金額	運送 請負人 (代理人 承認)		

備考

一 本書ハ回送鹽到達ノ都度作製スヘシ

第八章 回送

第九號書式ノ三

回送鹽亡失調查書

何年 何月 何日

何專賣支局(何出張所)

被害發生ノ日時場所	案內(發送元)番號(回送先)	等級	包裝種類	數量	等級	包裝種類	數量	賠償價格	辨償	
									同上ニ一圓四十八錢ヲ加算シタルモノ	同上ニ一圓四十八錢ヲ加算シタルモノ
									回送費	備考

備考

- 一 第九號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス
- 二 賠償價格欄ニハ鹽運送請負書第五項第一號ノ價格(同上ニ一圓四十八錢ヲ加算シタルモノ)欄ニハ同第二號ノ價格ヲ記載スルモノトス
- 三 回送費欄ニハ辨償セシムヘキ回送費アルトキハ其金額ヲ記載スルモノトス

第九號書式ノ四

回送鹽引取運延調查書

何年 何月 何日

何專賣支局(何出張所)

回送先	命日	引取期限	等級	包裝種類	數量	等級	包裝種類	數量	請負金額	請負人ノ引取月日	運延數日	懈怠金	運延事由	運送請負人(代理人)承認印

第十號書式ノ一

何年 自何月 至何月 回送鹽損傷ニ對スル賠償處分事蹟報告

何年 何月 何日 提出

何專賣支局(何出張所)

區分	發送元(回送先)	損傷數量	辨償金額	運送請負人氏名	備考

第十號書式ノ二

備考

一本報告ハ處分セシモノ一件毎ニ掲記スルモノトス但シ調査濟處分未濟ノモノハ處分濟ノモノニ準シ夫々當該欄ニ記入シ調査中ノモノハ其
ノ數量及件數ヲ發送元(回送先)別ニ區分記載シ件數ハ備考欄ニ掲記スヘシ

何年 自何月 至何月 回送鹽引渡遲延處分事蹟報告書
年 月 日 提出

何專專支局(何出張所)

小計	免除	ク	ク	小計	調査中

區分	徵收	ク	ク	免除	小計	小計

第八章 回送

九五

第十號書式ノ三

備考

一第十號書式ノ備考ハ本書式ニ準用ス

何年^{自何月}至何月 回送躰亡失ニ對スル賠償處分事蹟報告

年 月 日 提出

何專賣支局(何出張所)

計	調査中	調査處分未済	小計	ク	ク	免除	小計	ク	ク	徴收	區分	辨			氏名	備考
												發送元 (回送先)	亡失數量	賠償金額		
												同上ニ一圓四 シタルヲ加算 モ	額			
												計				
												運送請負人				
												備考				

備考

一第十號書式ノ備考ハ本書式ニ準用ス

第十號書式ノ四

何年 自何月 何月 何日 何分 何秒 何回送 何先 何引取 何遅延 何分事 何蹟 何報告 何書

年 月 日 提出

何專賣支局(何出張所)

區分	同送先	引取遅延數量	遅延日數	懈怠金額	件數	運送請負人氏名	備考
徴收							
ク							
ク							
小計							
免除							
ク							
ク							
小計							
調査處分未済							
調査中							

備考

一 第十號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

專賣局販賣部長通牒丁第一二四一號 (明治四十四年四月十八日)

明治四十四年三月二十七日丁第九二二號ヲ以テ鹽同送規程改正相成候ニ付テハ左記ノ點御注意相成度シ

- 一 引渡豫定期日ハ鹽運送請負書第一條第二項ニ依リ現品引取終了ノ翌日ヨリ起算スルコトナリタルヲ以テ運送請負人ニ於テ其ノ期日ヲ過キ引渡ヲナシタルトキハ回送先官署ハ發送元官署ニ於ケル引取遅延處分ノ有無ヲ問ハズ遲滞ナク其處分ヲ了スヘシ又發送元官署ニアリテハ引取遅延ノ事實アリタルトキハ現品引取終了後直ニ其處分ヲ了シ別ニ其ノ處分ヲ回送先官署ニ通知スルヲ要セサルモノトス
- 二 鹽ノ船舶輸送ノ場合ニ於テ引取遅延ノ事實ニ對シ運送請負書第二條ニ依リ不可抗力トシテ懈怠金ノ徵收ヲ爲ササルハ左記ノ場合ニ限ルモノトス
 - 甲 運送請負人ニ於テ運送命令後五日ノ引取豫定期間内ニ回送鹽全部ノ引取ニ必要ナル準備整頓シアリタルニ拘ハラズ大風雨等ノ不可抗力ニ因リテ其引取ヲ爲スコト能ハサリシ場合
 - 乙 運送請負人カ船積港ニ在ラサル船舶ニ對シ船積契約ヲ爲シタル場合ニ於テ不可抗力ニ因リテ其船舶ノ回航遅延シ引取豫定期間内ニ引取ヲ爲スコト能ハサリシ場合但シ此場合ニ於テハ特ニ左記ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

第八章 回送

(一) 運送契約成立シ引取豫定期間内ニ支障ナク引取り得ヘキ機船積港ニ回航スヘキ情態ニアリタルコトノ確證アルコト(運送契約ノ爲往復シタル電信其他ノ信書等)

(二) 不可抗力ノ爲引取ノ豫定期間内ニ回航スルコト能ハサリシコトノ證明アルコト

丙 運送命令後交通杜絶等ノ不可抗力ノ爲絶對ニ引取並船積ニ付何等ノ措置ヲ爲スコト能ハサリシ場合

山梨縣内ノ供給鹽ヲ潤澤ニシ鹽價ヲ低廉ナラシムルニハ甲府市ヲ引渡場所ニ指定スルノ要ヲ認メ左ノ如ク追加シタリ

專賣局長官達丁第一三〇一號 (明治四十四年四月二十五日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中東京專賣支局福島縣石城郡平町ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

東京專賣支局		山梨縣甲府市	
甲府市	赤穂、味野、尾道	汽	車
			一萬千斤以上

第二條別表中平町ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

回送鹽ノ亡失損傷ニ對シ現品代償ノ制度ヲ廢止シタルト同時ニ運送請負書中運送命令取消ノ場合ヲ追加シタリ即チ規程ノ改正及之ニ關スル通牒ハ左ノ如シ

專賣局長官達丁第二四七四號 (明治四十四年八月七日)

明治四十二年五月丁第三四二三號鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十四年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條第二項ヲ削ル

第四項中前三項ヲ前二項ニ改ム

第二號書式鹽運送請負書第十四條中一部解除ノ次ニ若ハ運送命令取消ヲ加フ

專賣局販賣部長通牒丁第二四七四號（明治四十四年八月七日）
今般鹽回送規程中改正相成候ニ付テハ左記ノ點御注意相成度 依命

一 舊規程第十六條第二項ニ依ルトキハ運送請負人ヲシテ現品ノ代償ヲ爲サシムルコトヲ得ルモ其ノ殘損傷鹽ハ政府ノ賣渡ササル鹽ナルヲ以テ之ヲ運送請負人ニ交付スヘキモノニ無之候處斯クテハ運送請負人ニ損失ヲ被ラシムル虞モ有之候ニ付今般右現品代償ノ制度ヲ廢セラレタル義ニ有之尤モ一包裝鹽ノ全部亡失シ然モ其ノ數量僅少ニシテ當該官署ニ於テ現品代償ヲ許スモ差支ナシト認メタル場合ニ限りテハ特ニ手續上ノ簡便ヲ期スルカタメ從來ノ通之ヲ許可シ損害處分ノ手續ヲ省略スルモ差支ナキモノト御了知相成度シ

二 政府カ運送請負人ニ對シ鹽運送命令ヲ發スルモ船練其ノ他ノ事故ノ爲メニ運送請負人カ其月未又ハ發送所要ノ日時迄ニ回送鹽ノ發送ヲ了セサル見込アルトキハ回送計畫ノ實行上ニ多大ノ支障ヲ來シ需要ノ時機ヲ失スルノ虞アルヲ以テ此等ノ場合ニハ發送元官署ニ於テハ一方回送不能トシテ整理スルト同時ニ請負人ニ對シテハ該回送鹽ノ運送命令ヲ取消シ更ニ臨機ノ措置ヲ要スル義ニ有之而シテ此等運送命令ノ取消ニ付テハ運送請負書第十四條中ニ包含スルモノト解釋シ得レトモ或ハ將來右ニ付疑義ヲ生スルコトナキヤノ虞モ有之候ニ付特ニ此ノ點ヲ明示スル趣旨ヲ以テ今般爲念請負書中ニ追加セラレタル次第ナルヲ以テ現ニ運送契約ヲ締結セル關係發送元官署ニ於テハ右ノ趣旨ヲ說示シ至急同人ヨリ右ニ關スル承諾書ヲ提出セシメ進達相成度

第二回製鹽地整理ニ伴ヒ整理地方ニ對スル鹽ノ供給上大分市及三津濱町ニ引渡場所ヲ開設スル

ト同時ニ全國最高鹽價地タル高山町ヲモ引渡場所ニ指定シタリ即チ左ノ如シ

專賣局長官達丁第二九六六號（明治四十四年九月三十日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通り改正シ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表ヲ左ノ如ク改ム

鹽販賣官署名	引渡場所	鹽販賣官署名	引渡場所
東京專賣支局	神奈川縣橫濱市	小出雲專賣支局新瀨出張所	新潟縣佐渡郡兩津町夷
東京專賣支局	神奈川縣三浦郡浦賀町	小出雲專賣支局松本出張所	長野縣上伊那郡伊那富村辰野
東京專賣支局	福島縣石城郡平町	名古屋專賣支局	三重縣四日市市
東京專賣支局	山梨縣甲府市	名古屋專賣支局	岐阜縣岐阜市
三春專賣支局土崎出張所	山形縣飽海郡酒田町	名古屋專賣支局	岐阜縣大野郡高山町
三春專賣支局仙臺出張所	巖手縣上閉伊郡釜石町	名古屋專賣支局伏木出張所	靜岡縣庵原郡江尻町
三春專賣支局仙臺出張所	巖手縣下閉伊郡宮古町	名古屋專賣支局敦賀出張所	石川縣金澤市
三春專賣支局青森出張所	青森縣三戸郡八戸町		福井縣福井市

鹽販賣官署名	引渡場所	鹽販賣官署名	引渡場所
神戸專賣支局大阪出張所 高梁專賣支局米子出張所 高梁專賣支局米子出張所 阪出專賣支局 阪出專賣支局 撫養專賣支局高知出張所 撫養專賣支局高知出張所 撫養專賣支局高知出張所	大阪府堺市 鳥取縣西伯郡境町 鳥根縣那賀郡濱田町 愛媛縣溫泉郡三津濱町 大分縣大分市 高知縣幡多郡下田村 高知縣高岡郡須崎町 高知縣安藝郡安藝町	熊本專賣支局 熊本專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 宮崎縣宮崎郡宮崎町 宮崎縣南那珂郡福島村	長崎縣長崎市 長崎縣南高來郡湊町(島原) 鹿兒島縣川邊郡東南方村 鹿兒島縣日置郡西市來村湊町 鹿兒島縣出水郡阿久根村 宮崎縣宮崎郡宮崎町 宮崎縣南那珂郡福島村

第二條別表ヲ左ノ如ク改ム

引渡場所	發送元官署	運送方法	一回ノ引渡高合計
横濱市	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養	帆船	四十萬斤以上
浦賀町	撫養	帆船	四十萬斤以上
平町	赤穂、味野	汽船	一萬千斤以上
甲府市	赤穂、味野、尾道	汽船	一萬千斤以上
酒田町	尾道、三田尻	帆船	四十萬斤以上
釜石町	赤穂、味野、阪出	汽船	四十萬斤以上
宮古町	赤穂、味野、阪出	汽船	四十萬斤以上
八戸町	阪出	汽船	四十萬斤以上
夷	尾道、阪出	汽船	三十萬斤以上
辰野	赤穂、味野、尾道	汽船	一萬千斤以上
四日市市	赤穂、味野、尾道、撫養	汽船	一萬千斤以上
岐阜市	赤穂、味野、尾道	汽船	一萬千斤以上
高山町	赤穂、味野、尾道	汽船	一萬千斤以上
江尻町	赤穂、味野、尾道、撫養	汽船	一萬千斤以上

福	宮	阿	湊	東	島	長	安	須	下	大	三	濱	境	堺	福	金
島	崎	久		南		崎	藝	崎	田	分	津	田			井	澤
村	町	根	町	方	原	市	町	町	村	市	町	町	町	市	市	市
三田尻 阪出	三田尻 阪出	三田尻 阪出	三田尻 阪出	三田尻 阪出	三田尻	三田尻	撫養	撫養	撫養	阪出 熊本	阪出	三田尻	味野、尾道、三田尻	赤穂、味野、阪出、撫養	赤穂、尾道	味野、尾道
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆帆	帆	帆	帆	帆	汽	汽
船	船	船	船	船	船	船	船	船	船	船船	船	船	船	船	車	車
十萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	五萬斤以上	五萬斤以上	二萬斤以上	二萬斤以上	三萬斤以上	十萬斤以上	十萬斤以上	四萬斤以上	一萬千斤以上	一萬千斤以上

鹽ノ回送區間ハ別ニ之ヲ定ムルト翌年度月別鹽賣渡見込高報告ヲ追加スル等ノ外主トシテ回送鹽ノ亡失、減耗、損傷及引取、引渡遲延ニ關スル取扱方ヲ改定スルノ必要ヲ認メ左ノ如ク規程ノ改正及通牒ヲ爲シタリ

專賣局長官達丁第七九七號 (明治四十五年四月一日)

明治四十二年五月丁第三四二三號鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ

施行ス

鹽回送規程

第一條 鹽ノ回送ハ毎年度ノ始ニ於テ別ニ定ムル所ノ區間ニ限り之ヲ行フモノトス但シ本局

ニ於テ鹽ノ需要供給上必要ト認メタルトキハ隨時之ヲ變更スルコトアルヘシ

第二條 回送先官署ハ其ノ所ニ於テ賣下クヘキ回送鹽ノ產地ヲ門前ニ揭示シ又ハ便宜ノ方法

ヲ以テ之ヲ元賣捌人ニ周知セシムヘシ

第三條 鹽ノ回送ハ第八條但書ノ場合ヲ除ク外豫メ本局ニ於テ指定シタル鹽運送請負人ヲシ

テ之ヲ取扱ハシムヘシ

第四條 鹽運送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者タルコトヲ要ス

一 直接國稅二十圓以上ヲ納ムル者

二 運送業ニ三年以上從事シ尙引續キ現ニ從事スル者

第五條 鹽運送請負契約ハ毎年度之ヲ更新スルモノトス

第六條 發送元官署長ハ現行契約期間滿了ノ日ヨリ少クトモ一箇月前ニ於テ第四條ノ資格ヲ

有スル者ヨリ第一號様式ノ見積書ヲ徴シ意見ヲ附シテ之ヲ本局ニ提出スヘシ臨時運送請負

人ヲ指定スルノ必要ヲ生シタルトキ亦同シ但シ第八條第一項但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 本局ニ於テ鹽運送請負人ヲ指定シタルトキハ發送元官署長ハ適當ト認ムル保證人ヲ

立テシメ第二號書式ノ鹽運送請負書ヲ徴シ之ヲ本局ニ提出スヘシ

第八條 鹽ノ回送ハ本局ニ於テ之ヲ命令スヘシ但シ專賣支局出張所派出所及回送鹽引渡場所

相互間ノ回送ニ付テハ本局ノ承認ヲ受ケタル場合ニ限り當該支局長限り之ヲ施行スルコト

ヲ得此ノ場合ニ於テハ本規程ヲ準用スヘシ

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ發送元回送先回送スヘキ鹽ノ等級、包裝、數量及運賃ヲ調査シ其ノ都度稟申スヘシ

第九條 回送先及發送元官署長ハ第三號書式ニ依リ翌年度分月別鹽賣渡見込高表ヲ毎年二月十日日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

回送先官署長ハ第四號書式ニ依リ翌月分鹽需要高表ヲ發送元官署長ハ第五號書式ニ依リ翌月分鹽回送高表ヲ毎月二十日日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

第十條 鹽回送命令ヲ受ケタルトキハ發送元官署ハ命令ノ日附後五日以内ニ第六號書式ニ依リ鹽回送計畫表ヲ本局ニ提出シ同時ニ關係部分ニ對スル謄本ヲ回送先官署ニ送付スヘシ

其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ第八條但書ノ場合又ハ鹽回送命令ニ對シ命令額全部ヲ命令ノ日附後五日以内ニ於テ即時ニ拂出ストキハ計畫表ノ調製ヲ要セス

第十一條 鹽運送請負人ニ對シ運送ノ命令ヲ爲シタルトキハ回送費豫算執行決議簿當該欄ニ記入ノ上請負人ノ認印ヲ徴スヘシ

第十二條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡ストキハ主任官吏立會ノ上請負人又ハ代理人ヲシテ現品ヲ調査セシメ回送費豫算執行決議簿ニ領收印ヲ徴スヘシ

前條及前項ノ場合ニ於テ豫算執行決議簿ノ備ナキ官署ニ在リテハ之ニ準シタル帳簿ヲ調製シテ處理スヘシ

第十三條 運送請負人カ回送鹽ヲ船舶ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽ナルト否トヲ問ハス其ノ積載鹽ノ全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル後直ニ第七號書式ノ回送案内書ヲ回送先官署ニ送付シ同時ニ第八號書式ノ報告書ヲ本局ニ提出スヘシ

運送請負人カ回送鹽ヲ貨車其他陸運ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル毎ニ若シ一運送命令ノ鹽ヲ二回以上ニ分割引渡ヲ爲ストキハ一回分ノ引渡ヲ了シタル都度前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 發送元官署ニ於テ鹽ノ收納貯藏ノ不足其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ月中ニ回送ノ見込立タサルモノ又ハ回送スルコト能ハサルモノアルトキハ直ニ其產地、等級別數量、包裝ノ種類、箇數及回送不能ノ事由ヲ回送先官署ニ通報スルト同時ニ本局ニ報告スヘシ

前項ノ回送不能額ハ回送命令中ヨリ減額セラレタルモノトス
發送元官署ニ於テ第一項ノ回送不能額ヲ翌月分ノ回送命令高ニ變更スルノ必要アルトキハ其旨稟申シ承認ヲ受クヘシ

第二項ノ場合又ハ第三項ノ承認ヲ得サル場合ニ於テ運送請負人ニ對シテ既ニ運送命令ヲ發シタルモノアルトキハ直チニ運送命令解除ノ通知ヲ發スヘシ其ノ他ノ場合ニ在リテハ運送請負人ニ對シ先ノ運送命令ヲ履行セシムヘシ

第十五條 回送鹽ノ引渡ヲ受クルトキハ運送請負人又ハ代理人ヲ立會セシメ亡失減耗シタルモノヲ除クノ外損傷シタルモノアルト否トヲ問ハス總テ受入ノ手續ヲ爲シ第九號書式ノ領收證ヲ發送元官署ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ運送請負人ノ請求アルトキハ鹽領收書ヲ交付スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ回送先官署ハ回送案内書ノ餘白ニ引渡月日、若シ亡失減耗又ハ損傷ノ事實アリタルトキハ其數量又引渡遅延ノ事實アリタルトキハ其遅延日數及其數量ヲ記入シ尙其他ノ餘白又ハ補箋ニ依リ其鹽ノ受入命令ヲ發スヘシ

第十六條 回送鹽ニシテ運送中亡失減耗損傷シタルモノ又ハ引渡豫定期間ヲ過キ引渡シタル

モノアルトキハ回送先官署ハ第十號書式ニ依リ調査書ヲ作製シ且同時ニ運送請負人ヨリ事由書及證憑書類ヲ提出セシメ責任ノ有無ヲ調査シ若シ其責任ノ運送請負人ニ歸スヘキモノハ相當金額ヲ納付セシメ其責ニ歸スヘカラサルモノハ其旨ヲ告知スヘシ
前項ニ依リ運送請負人ヨリ提出スヘキ事由書及證憑書類ニシテ受入ノ際提出シ難キモノアル場合ニハ一定ノ期間内ニ之ヲ提出スヘキヲ命シ遲滞ナク其調査決定ヲ了スヘシ若シ其期間内ニ提出ヲ爲ササルトキハ適宜之ヲ決定シ其旨運送請負人ニ通知スヘシ
運送請負人ニ於テ回送鹽ノ引取ヲ遅延シタルモノアリタルトキハ發送元官署ハ前二項ニ準シ處理スヘシ

前三項ノ場合ニ於テ其損害金額カ三百圓以上ナルトキハ調査書ハ關係書類ト共ニ之ヲ本局ニ提出シ其承認ヲ受クヘシ

第十七條 回送鹽ノ亡失滅耗損傷及引渡遅延シタルモノニ對シテハ一回送案内毎ニ又回送鹽ノ引取遅延ニ對シテハ一運送命令毎ニ一件トシテ處理スヘシ

前條及前項ニ依リ處理ヲ了シタルトキハ亡失滅耗ノ數量損傷ノ程度及數量引渡遅延ノ數量及日數其事由運送請負人ノ賠償責任ノ有無等ヲ發送元官署ニ通知スヘシ

第十八條 回送鹽ノ亡失滅耗損傷カ發送元附近ニ於テ生シ回送先官署ヨリ前ニ知リタルトキハ第十六條ノ手續ハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 亡失滅耗損傷引渡及引取遅延處分ノ事蹟ハ毎年左ノ二期ニ區分シ第十一號書式ニ依リ本局ニ報告スヘシ

第一期

自四
至九

月

十月五日限

第八章 回送

第二期 自十月 至翌年三月 四月五日限
第一號書式 鹽運賃見積書

發送元	回送先	直 接 費			間		接 替 費		手 數 料	運 賃 計	引 渡 豫 定期間	備 考
		汽 車 路	陸 路	河 海 路	倉 出 積 込	積 替	荷 揚 (卸) 届 ケ 倉 入					
		毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	日	何 地 マ ナ 和 船 積 替 等

右見積候也

年 月 日

營業場所所在地

氏 名(何會社長又ハ代表者)印

專 賣 局 長 官 宛

備 考

- 一 本見積價格ハ鹽百斤當トス
- 二 陸路ノミノ箇所ニ於ケル中繼費ハ直接費陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 三 鐵道廳ヨリ汽車賃割引ノ承認ヲ得タルモノニアリテハ其ノ割引額ヲ備考ニ記載スヘシ
- 四 到達豫定期間ハ船車渡ノ分ト倉庫渡ノ分トニ區分記載スヘシ

第二號書式

鹽運送請負書

今般別紙見積書ニ記載セル區間ニ回送セララル鹽ノ運送方明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄弊社へ御命令相成候ニ付テハ左ノ各條確守履行可致候

第一條 回送鹽ハ別紙見積書記載ノ運賃ヲ以テ引渡豫定期間内ニ回送先ニ引渡可申候但シ發送元ニ於テ倉出ヲ要セサル場合又ハ回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ見積書記載ノ金額中倉出費又ハ荷揚倉入費ハ不申受候

別紙見積書記載ノ運賃カ回送時期ニ依リテ異ル場合ニハ鹽運送命令アリタル當時ノ請負金額ニ依ルヘク又引渡豫定期間ハ其現品引取終了ノ翌日ヨリ起算可致候

運賃中汽車輸送ニ對スル運賃ノ直接費ハ御局ニ於テ直接鐵道院ニ仕拂可相成コト承諾仕候

第二條 運送命令ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ引取可申若シ命令ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ引取ラサルトキハ弊社若ハ弊社使用人ノ故意過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ヲ除ク外其ノ期間ノ末日カ休日ナルト否トニ拘ラス其ノ翌日ヨリ起算シ現品引取終了ノ日若ハ運送御命令解除ノ日迄ノ日數ニ對シ一日毎ニ鹽千斤ニ付金一錢ノ割合ヲ以テ計算シタル懈怠金ヲ發送元官署ノ御指定ノ期日迄ニ納付可仕候但シ一運送命令ニ對スル懈怠金額十錢未滿ノトキハ御免除可被下候

前項ノ引取ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ發送元官署ニ御届可致候

第三條 鹽ノ荷揚引渡方ニ付テハ回送先ニ支店代理店又ハ代理人ヲ常置シ豫メ其ノ氏名ヲ發送元及回送先官署ニ御届可致候

第四條 運送ニ要スル運送具及假貯藏場等ハ御指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送品ニ充分ノ注意ヲ加ヘ鄭重ニ取扱可致ハ勿論豫テ船繰上ニ注意シ天災其他ノ事變ニ依リ絶對ニ配給不可能ノ場合ノ外船繰ノ故障ヲ以テ引取發送又ハ引渡ノ遅延ヲ來ス間敷候

第五條 鹽ノ引取後引渡豫定期間内ニ於テ鹽ノ亡失減耗損傷等有之候節ハ弊社若ハ弊社使用人ノ故意過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ヲ除ク外弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ又引渡豫定期間經過後ニ於テ同上ノ事實有之候節ハ不可抗力ニ因リタルト否トニ拘ラス弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ御指定ノ期日迄ニ左記ノ通辨償可致候但シ弊社ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因ル鹽ノ亡失減耗ト鹽ノ運送ニ依リ通常生スヘキ減耗ト併發シタルトキハ通常減耗ニ付

テモ亦其責ニ任スヘク候

一 鹽ノ亡失減耗ノ場合ニ於テ

イ 御局ニ於テ其ノ鹽ノ減失ノ事實ヲ確認セラレタル場合ハ運送命令アリタル當時ノ鹽

賠償價格及一旦回送シタル鹽ニアリテハ百斤ニ付金二十三錢五厘

ロ 前項以外ノ亡失減耗ノ場合ハ一旦回送シタル鹽ト否トニ拘ラス其ノ鹽ノ引渡豫定期

間ノ末日ニ於ケル政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格及其ノ回送先地ノ徵收回送費ニ相當

スル金額

二 鹽ノ損傷ノ場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ヨリ損傷鹽ノ御局鑑定ニ依ル

等級ニ相當スル賠償價格ヲ控除シタル金額

三 包裝ノ損傷ノ場合ハ回送先ニ於テ御局カ其ノ補修又ハ更裝ニ要スルト認メタル費額但

シ包裝内ノ鹽ノ全部カ亡失シタル場合ニアリテハ包裝ノ損傷シタルト否トヲ問ハス運

送命令アリタル當時ノ包裝賠償價格ニ相當スル金額

第六條 引渡豫定期間ヲ經過シタル後回送先官署ニ鹽ノ引渡ヲ爲シタルトキハ弊社、弊社使用

人若ハ船長其他ノ船員ノ故意過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ヲ除ク外弊社ニ於テ一

切其ノ責ニ任シ其ノ引渡豫定期間ノ末日カ休日ナルト否トニ拘ラス其ノ翌日ヨリ起算シ一

日毎ニ鹽千斤ニ付金一錢ノ割合ヲ以テ計算シタル懈怠金ヲ回送先官署ノ御指定ノ期日迄ニ

納付可致候但シ一回送案内書ニ對スル懈怠金額十錢未滿ナルトキハ御免除可被下候

第七條 第五條ノ場合ニ於テ亡失減耗鹽ニ對スル運賃ハ一切請求致間敷ハ勿論御局ニ於テ其

ノ運賃ヲ第一條第三項ニ依リ鐵道院ニ支拂相成タルトキハ之ニ相當スル金額ヲ御指定ノ期

日迄ニ御局ニ納付可仕候但シ御局カ鹽ノ運送ニ依リ通常生スト認メラレタル減耗ニシテ他

ノ亡失及減耗ト併發セサル場合ニ限リ其ノ通常減耗ニ對スル運賃ハ請求可致候

第八條 運送請負中運賃ノ割増ヲ請求スルハ左ノ場合ニ限リ其ノ時々見積書ヲ差出可申其他ハ何等ノ事故有之トモ決シテ割増請求不致候

一 運送通路ノ修繕破損等ニ因リ故障ヲ生シタルトキ

二 見積書ニ記載スル引渡豫定期間以内ニ特ニ速達ヲ命セラレ其ノ指定期間内ニ引渡ヲ了シタルトキ

三 前二號ノ外直接費及間接費中官公廳ニ納付スヘキ金額又ハ鐵道賃率等ノ變更其他相當ノ理由アルコトヲ疏明シ御局ニ於テ其ノ事實ヲ確認セラレタルトキ

第九條 運送通路ノ新設修繕賃率ノ變更其他ノ事由ニ因リ運賃ニ減額ヲ生スヘキ場合ハ直ニ見積金額ヲ相當訂正可致候

第十條 同一區間ニ二以上ノ經路御契約アルモノハ特ニ御指定アルトキノ外ハ常ニ運賃ノ低額ナル經路ニ依リ運送可仕萬一其ノ經路ニ依リ難キ場合ハ發送元官署ノ御承認ヲ受ケ運送可仕一經路契約ノ場合ニ其ノ經路ニ依リ難キトキハ亦同様御承認可相受候

第十一條 運賃ハ回送案内書一通毎ニ厘位切捨請求可致候

第十二條 運送請負ヲ廢止セントスルトキハ少クトモ六十日以前ニ申出御認可ヲ可受候

第十三條 亡失減耗損傷又ハ引渡遲延ニ關スル事由書及證憑書類ハ回送鹽引渡ノ際回送先官署ニ引取遲延ニ關スル事由書及證憑書類ハ回送鹽引取ノ際發送元官署ニ提出可致若シ回送鹽ノ引渡引取ノ際提出シ難キ場合ニハ御指定ノ期日迄ニ必ス提出可致候但シ亡失減耗及損傷ニ關シ發送元官署ニ於テ御處理相成ル場合ニハ其ノ事由書及證憑書類ハ發送元官署ノ御指定ノ期日迄ニ提出可致候

前項ノ書類ヲ御指定ノ期日迄ニ提出セサルトキハ御局ニ於テ適宜御決定相成候共聊カ異議申間敷候

第十四條 鹽運送ニ關スル一切ノ帳簿書類及收支計算等ハ御局ノ必要ニ應シ何時ニテモ検査相成不苦候

第十五條 前各條ニ違背候節ハ勿論其他御局ノ御都合ニ依リ何時本請負及本請負ニ基キ發セラレタル運送命令ノ全部又ハ一部解除ノ義御通牒相成候共聊カ異議申間敷候又此ノ場合ニ因リ生スル弊社ノ損害ニ付テハ何等請求不致候

年 月 日

住 所 運送請負人 何會社長又ハ代表者印

住 所

保市證人 何 某 印

專賣局長官宛

第三號書式

年度月別鹽賣渡見込高表 (千斤單位)

何 專 賣 支 局 (何出張所)

月 別		四 月	
發送元	支局名	計	計
一 等	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		
二 等	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		
三 等	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		
四 等	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		
五 等	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		
計	八十四斤 八十三斤 八十斤 俵		

第五號書式

何月何日付回送命令第何號ニ對スル分
 何月分鹽回送計畫表
 (何月分トナラズ本表ニモトキハ其數量ヲ當該相當欄ニ内書スルモノトス)

事實支局出張所 又ハ派出所名	等級	包裝種類	本月未見 現高	翌月見込 中込	計	翌月見込 中込	差引回送 高	備考
			千斤	千斤	千斤	千斤	千斤	

備考

- 一 翌月中賣渡見込高中其ノ所管内ノ消費用トシテ賣渡スヘキ見込高ハ等級包裝別ニ備考欄ニ計入スヘシ
- 二 本月未現在見込高中包裝汚損其ノ他損傷等ノ爲其ノ儘回送ニ適セサルモノアルトキハ其數量ヲ當該相當欄ニ内書スルモノトス
- 三 備荒用散鹽數量ハ本月未現在見込高ニ依リ備考欄ニ之ヲ掲記シ其ノ事實拂出シ得ヘキ等級別數量ヲ内書スルモノトス
- 四 本表ニハ局所別ニ小計及合計ヲ附シ尙合計ニハ等級包裝別ニ其ノ内譯ヲ附スヘシ

第六號書式

何月何日付回送命令第何號ニ對スル分
 鹽回送計畫表
 何月何日提出

發送元	回送先	等級	包裝種類	命令數量	引渡見込數量	引渡予定月日	到達豫定月日	備考
				斤	斤	月 日	月 日	

備考

- 一 本表ハ命令番號ノ異ナル毎ニ調製スヘシ
- 二 引渡見込數量ハ回送先ノ異ナル毎ニ小計ヲ附スヘシ
- 三 「到達豫定月日欄」ニハ積載船舶又ハ貨車ノ回送先港灣又ハ驛ニ到達スヘキ見込月日ヲ記載スヘシ

第七號書式

鹽回送案内書

年 月 日

何事實支局(何出張所)物品會計官吏

官 氏 名 印

番 號 何事實支局長(何出張所長)宛

發送元 命令番號	運送請負人 引渡月日	等 級	包裝種類	包裝箇數	全 數 量	到 達		價 額	運送請負人 氏 名	備 考
						預 定 日 月 日	實 際 日 月 日			

用紙縦五寸五分
横八寸五分
トシテ左側二寸

備考

- 一回送案内書ニ記載スヘキ運送命令ノ回送鹽ヲ數次ニ分割引渡ヲナシタルトキハ「請負人ニ引渡月日欄ニハ其ノ引渡最終ノ月日ヲ記載スヘシ」
- 回送鹽船送ノ場合ニ於テハ積載船名ヲ備考欄内ニ記載スヘシ
- 本書中散鹽貯藏ニ供スヘキ分ハ備考欄内ニ其ノ旨記載スヘシ
- 第六號書式備考三ハ本書式ニ準用ス

第八號書式

月 分 何月何日提出 何事實支局(何出張所)

發送元	回送元	何月何日 命令 第 號	回 送 命 令	引 渡 高		引渡未請負人 引渡月日	到 達 豫 定 日 月 日	備 考
				包裝種類	包裝箇數			

用紙縦五寸五分
横八寸五分
トシテ左側二寸

備考

- 本書ハ案内書ノ異ナル毎ニ調製シ即時報告スヘシ但シ引渡數量ハ第二回目ヨリ累計ヲ朱書スヘシ
- 命令數量ニ對シ引渡ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ過不足アルトキハ其ノ數量並事由ヲ記載スヘシ
- 第六號書式備考三及第七號書式備考二竝ニ三ハ本書式ニ準用ス
- 第十條但書後段ニ因リタルモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

第九號書式

番號 年 月 日 鹽 領 收 證
何事實支局(何出張所)物品會計官吏官氏名宛

回送案内書番號		何事實支局(何出張所)物品會計官吏官氏名宛											
等	級	包裝種類	包裝箇數	數	量	賠償價格	請引	入月	日	到達月	日	備	考

用紙 縦二寸八分 横一寸八分
トシテ左側ニ一付ノ
餘白ヲ存スヘシ

備考

- 一 本書ハ回送案内書ノ異ナル毎ニ即日調製送付スヘシ但シ一案内書分ニシテ分割受入ヲナシタルトキハ其ノ全部ノ受入ヲ了シタル上受入月日ノ異ナル毎ニ當該相當欄ニ區分掲記シ其ノ月日ヲ備考欄内ニ記載スヘシ
- 二 本書中年月日欄ニハ受入ノ月日ヲ記載スヘシ
- 三 回送先ニ於テ倉庫渡又ハ船車渡ノ場合ニハ備考欄内ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 四 「到達月日」欄ニハ積載船舶又ハ貨車ノ實際回送先港灣又ハ驛ニ到達シタル月日ヲ記載スヘシ

第十號書式ノ一

回送鹽損傷調査書

年 月 日

何事實支局(何出張所)

被害發生ノ日時場所	回送案内			損傷			傷辨			備考	
	案内番號	發送元	等級	包裝種類	數量	元等級	包裝種類	數量	賠償價格		

備考

一本書ハ回送鹽到達ノ都度作製スヘシ

第十號書式ノ二

回送鹽引渡遲延調査書

何事實支局(何出張所)

發送元		回送			案内			運			著			請				
番號	今月	運送命日	引渡期日	等級	包種	裝類	數量	等級	包種	裝類	數量	請金額	引渡日	日數	辨忘金	事故	運入	請印
							斤				斤	里			円			

甲紙兼濃形 額代トシ
ナ左側ニ「ナ」捺印ヲ
付スベシ

備考

- 一 引渡豫定期日欄ニハ請負人カ回送先官署ニ鹽ノ引渡ヲナスヘキ豫定期日ヲ記載スルモノトス
- 二 一回送案内書分ニシテ引渡豫定期日内ニ引渡ヲ受ケサルモノアリタルトキハ現品受入毎ニ本書ヲ調製シ請負人ノ證印ヲ微シ一案内書分全部到着ノ上處分スヘシ

第十號書式ノ二

回送鹽亡失減耗調査書

年 月 日

何專賣支局(何出張所)

被害發生ノ日時場所	回送案内	送		案内		亡失減耗		辨		賞		運送請負人證印	備考
		發送元	等級	包裝種類	數量	等級	包裝種類	數量	減失ノ事實ヲ確認シタル場合	同上以外ノ場合	金		

備考

一 第十號書式ノ二備考ハ本書式ニ準用ス

第十號書式ノ四

回送鹽引取遅延調査書

年 月 日

何專賣支局(何出張所)

回送先	運送			命令			運送			引取月日	請負人ノ引取日	遲延日數	懈怠金	遲延事由	運送請負人(代理)認印
	月日	命引期	期限	等級	包裝種類	數量	等級	包裝種類	數量						

第十一號書式ノ一

何年^{自何月}回送鹽損傷ニ對スル賠償處分事蹟報告

年 月 日提出

何專賣支局(何出張所)

區分	發送元	損傷數量	辨償金額	運送請負人氏名	備考
徵收					
ク					
ク					
免除					
小計					
ク					
ク					
小計					
調査處分未済					
調査中					

備考

一本報告ハ處分セシモノ一件毎ニ掲記スルモノトス但シ調査濟處分未済ノモノハ處分濟ノモノニ準シ夫々當該欄ニ記入シ調査中ノモノハ其ノ數量及件數ヲ發送元(回送先)別ニ區分記載シ件數ハ備考欄ニ掲記スヘシ

第十一號書式ノ二

何年^{自何月}回送鹽引渡遲延處分事蹟報告書

年 月 日提出

何專賣支局(何出張所)

區分	發送元	遲延數量	遲延日數	懈怠金額	件數	運送請負人氏名	備考
徵收							
ク							
ク							

第十一號書式ノ三

備考

一第十一號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

何年自何月何日回送鹽亡失減耗ニ對スル賠償處分事蹟報告
年 月 日 提出

何專賣支局(何出張所)

調査中	調査處分未済	計	小計	ク	ク	免除	小計	ク	ク	徴收	區分	發送元 (回送先)	亡失減耗數量	減失ノ事實ヲ確 認シタル場合	價金 同上以外ノ亡 失減耗ノ場合	額計	運送請負人 氏名	備考

備考

一第十一號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

第十一號書式ノ四

何年 何月 何日 何月 何日 何月 何日 何月 何日 何月 何日
年 月 日 提出

何事實支局(何出張所)

區分	回送先	引取遅延數量	遅延日數	懈怠金額	件數	運送請負人氏名	備考
徴收							
ク							
ク							
小計							
免除							
ク							
ク							
小計							
計							
調査處分未済							
調査中							

備考

一第十一號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

專賣局販賣部長通牒丁第一九一三號(明治四十五年六月十五日)
鹽回送ニ關シテハ左記ノ事項特ニ御注意相成度 依命

一 物品ノ拂出命令ハ回送案内書ノ原議ニ附記代用スヘシ

二 鹽ノ亡失減耗損傷及引取、引渡遅延調査書ハ現品ノ引取引渡ノ際又全部亡失ノ場合ニ在リテハ請負人ニ於テ其事實ヲ申告シタル時ニ於テ之ヲ調製シ且同時ニ承認印ヲ徵スヘシ又同調査書ノ事故及被害事實ノ記載ハ總テ請負人ノ陳述ノ儘ヲ掲記シ若シ請負人ニ於テ其事故等不明ナル場合ニハ其旨記載スルヲ以テ足ルモノトス

三 回送鹽ノ亡失減耗調査書及回送鹽損傷調査書中被害發生ノ日時場所欄ニハ其被害事實ノ概要ヲモ記述スルモノトス

四 運送請負人ニ於テ前項調査書記載ノ事故及被害事實ノ外主張スヘキ事實ナク又證明ノ途ナシト明言セル場合ニハ直ニ之ヲ處分シ別ニ事由書、證明

書等ヲ徵スルニ及ハサルモノトス

五 亡失減耗損傷及引取、引渡遲延調査書ハ苟モ回送鹽ニシテ被害及遲延事實ノ發生シタル以上ハ其ノ事故ノ請負人又ハ當該官署ニ存スルト其ノ他ノ事由ニ基因スルトヲ問ハス又徵收金額ノ十錢未滿ナリト認ムル場合ニ於テモ總テ之ヲ調製スヘキモノトス

六 回送鹽ノ亡失減耗及損傷カ發送元附近ニ於テ生シタル場合ニハ發送元官署ハ成ルヘク亡失減耗鹽ニ付テハ之ヲ補充シ損傷鹽ニ在リテハ損傷ナキ鹽ト引替ヘ發送ノ手續ヲ爲スヘシ

七 回送案内書ニ先チ回送鹽ノ到達シタルトキニ於テモ回送先官署ハ便宜受入ノ手續ヲ爲スヘシ

八 回送鹽ノ亡失處分アリタル場合ニハ回送先官署ハ案内書ニ其數量ヲ記入スルヲ以テ亡失處分ノ通知ヲ受クルトモ發送元官署ハ別ニ更正案内書ヲ送付ヲ要セサルモノトス

九 回送鹽ノ引取遲延及亡失減耗損傷ノ場合ハ引渡遲延ノ場合ト異ナリ船長其他ノ船員ノ故意過失ニ付テハ請負人ハ責任ナシト雖モ此場合ニ在リテハ事實取調ノ上其都度本局ニ報告スヘシ

十 回送鹽ノ引取遲延ノ懈怠金ニ付テハ請負書第二條ニ「期間ノ末日カ休日ナルト否トニ拘ハラズ其翌日ヨリ起算シ現品引取終了ノ日マテ云々」トアルハ現品引取ノ日マテト云フニ外ナラサルヲ以テ一運送命令鹽ノ内現ニ引取ヲ爲シタルモノニ在リテハ其ノ引取ノ翌日以後ノ日數ニ對シテハ懈怠金ヲ徵收スヘキモノニアラス

十一 請負書第五條中又引渡豫定期間經過後ニ於テ同上ノ事實有之候節ハ云々トアルハ故ナク其ノ期間ヲ經過シタル日數ノミヲ指シタルモノナリ從テ請負人ニ於テ故意過失ナク其ノ期間經過中天災其ノ他ノ事變ニ遭遇シ之カ爲亡失減耗損傷等ノ事實アルモ其責ニ任セシムヘキモノニアラス

十二 回送鹽ニシテ亡失減耗シタル場合ニ於テ運送請負人ヨリ現品代償ヲ申出タル場合ニハ之ヲ許スモ差支ナシ此場合ニ於テハ別ニ損害處分ノ手續ヲ要セス

追テ四十四年八月丁第二四七四號通牒ハ自然消滅ノ義ト御了知相成度

回送鹽引渡場所中回送ノ事績ナキ横濱及釜石ノ二箇所ヲ廢止スルノ外江尻、長崎及宮崎ノ三箇所ヲ販賣官署ニ、酒田、夷、四日市、高山、福井、三津濱、大分、島原及福島ノ九箇所ヲ派出所ニ改メ更ニ釧路ヲ販賣官署ニ、根室及鹽釜ノ二箇所ヲ派出所ニ追加シタルカ爲回送鹽引渡手續中ノ改正ト同時ニ鹽回送規程改正ニ伴ヒ別ニ左ノ如ク回送區間ヲ定メタリ

專賣局長官達丁第八三五號 (明治四十五年四月八日)

鹽回送規程第一條ニ依リ鹽ノ回送區間ヲ左ノ通相定ム

東 浦	京 賀	發 送 元 官 署	回送先官署及引渡場所	發 送 元 官 署
赤穂、味野、尾道、阪出、撫養	甲	平 府	回送先官署及引渡場所	發 送 元 官 署
赤穂、味野		赤穂、味野、尾道		

郡	土	仙	青	函	小	釧	直	新	松	名	四	高	江	伏	金	
山	酒	鹽	宮	八	樽	根	江	夷	辰	古	日	山	岐	木	澤	
赤穂、味野、撫養	尾道、三田尻、阪出	赤穂、味野、阪出、撫養	赤穂、味野、阪出、撫養	赤穂、味野、阪出	三田尻、阪出	味野、三田尻、阪出、撫養	三田尻、阪出	赤穂、尾道、三田尻、阪出	尾道、三田尻、阪出	赤穂、味野、尾道	赤穂、味野、尾道	赤穂、味野、尾道	赤穂、味野、尾道	赤穂、味野、尾道	赤穂、味野、尾道	味野、尾道
郡	大	米	門	阪	高	須	熊	安	島	長	鹿	東	阿	福	宮	
福	堺	境	濱	三	下	須	安	島	大	大	島	東	阿	福	宮	
赤穂、尾道、三田尻	赤穂、尾道	赤穂、味野、阪出、撫養	赤穂、味野、尾道、三田尻	味野、尾道、三田尻	三田尻	味野、三田尻、阪出	撫養	撫養	撫養	撫養	味野、三田尻、阪出	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻
郡	敦	大	米	門	阪	高	須	熊	安	島	長	鹿	東	阿	福	宮
賀	井	阪	子	田	司	知	田	藝	崎	分	崎	島	方	根	島	崎
赤穂、尾道、三田尻	赤穂、尾道	赤穂、味野、阪出、撫養	赤穂、味野、尾道、三田尻	味野、尾道、三田尻	三田尻	味野、三田尻、阪出	撫養	撫養	撫養	撫養	味野、三田尻、阪出	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻

專賣局長官達丁第八三五號ノ二（明治四十五年四月八日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ

施行ス

第一條表ヲ左ノ如ク改ム

鹽販賣官署名	引渡場所	鹽販賣官署名	引渡場所
東京專賣支局	神奈川縣三浦郡浦賀町	高梁專賣支局米子出張所	鳥取縣西伯郡境町
東京專賣支局	福島縣石城郡平町	高梁專賣支局米子出張所	鳥根縣那賀郡濱田町
東京專賣支局	山梨縣甲府市	撫養專賣支局高知出張所	高知縣幡多郡下田村
三春專賣支局仙臺出張所	巖手縣下閉伊郡宮古町	撫養專賣支局高知出張所	高知縣高岡郡須崎町
三春專賣支局青森出張所	青森縣三戸郡八戸町	撫養專賣支局高知出張所	高知縣安藝郡安藝町
小出雲專賣支局松本出張所	長野縣上伊那郡伊那富村長野	鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣川邊郡東南方村
名古屋專賣支局	岐阜縣岐阜市	鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣日置郡西市來村湊町
名古屋專賣支局	石川縣金澤市	鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣出水郡阿久根村
神戸專賣支局大阪出張所	大阪府堺市		

第二條ヲ左ノ如ク改メ別表ヲ削除ス

前條ノ場所ニ於テ引渡スヘキ鹽ノ運送方法ハ發送元官署引渡場所間ノ鹽運送請負契約上定メラレタル方法ニ依リ其ノ一回ノ引渡高合計ハ汽船送ノ場合ハ四十萬斤以上宮古ニ於テハ仙臺送ト積合ノ場合ニ限リ五萬斤以上帆船送ノ場合ハ十萬斤以上堺三津濱及須崎ニ於テハ五萬斤以上汽車送ノ場合ハ一萬千斤又ハ其ノ倍數ナルコトヲ要ス

次年度運送請負契約ニ係ル運賃ヲ出來得ル限リ引下ケノ要アルカ爲之ト交換的ニ運送請負人申請ノ一部ヲ容レ回送鹽ノ引取竝引渡遅延ノ懈怠金ヲ低減シタリ即チ左ノ如シ

專賣局長官達丁第七三五號 (大正二年三月三十一日)

明治四十二年五月丁第三四二三號鹽回送規程中左ノ通改正シ大正二年度契約ノ分ヨリ之ヲ施行ス

第二號書式鹽運送請負書中左ノ如ク改ム

第二條及第六條中「金壹錢」ヲ「金八厘」ニ改ム

專賣局販賣部長通牒丁第八五七號 (大正二年四月九日)

鹽ノ回送ニ關シ左記ノ事項御注意相成度 右依命

第八章 回送

鹽回送規程第一條ニ依リ大正二年度回送區間ヲ左ノ如ク定メタリ

專賣局長官達丁第七九四號 (大正二年四月七日)
鹽回送規程第一條ニ依リ鹽ノ回送區間ヲ左ノ通相定ム

回送先官署及引渡場所	發送元官署	回送先官署及引渡場所	發送元官署
東浦賀	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養 阪出、撫養	新夷	尾道、三田尻、阪出 尾道、三田尻
郡甲府	赤穂、味野、尾道 赤穂、味野、撫養	松辰	赤穂、味野、尾道
土酒	尾道、三田尻、阪出 尾道、三田尻	名古	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養
仙鹽	赤穂、味野、阪出、撫養 赤穂、味野、阪出、撫養	四日	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養
青宮	阪出、撫養 三田尻、阪出	高市	赤穂、味野、尾道
函八	阪出	山	赤穂、味野、尾道
小館	味野、三田尻、阪出、撫養	岐	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養
小樽	味野、三田尻、阪出、撫養	江	味野、尾道、三田尻、阪出
小室	味野、三田尻、阪出、撫養	伏	味野、尾道
直根	赤穂、尾道、三田尻、阪出	金	赤穂、尾道、三田尻
江津		津	味野、尾道
		米	赤穂、尾道
		大	赤穂、味野、阪出、撫養
		敦	赤穂、味野、阪出、撫養
		福	赤穂、尾道
		賀	赤穂、尾道
		澤	赤穂、尾道
		木	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養
		尻	味野、尾道
		阜	赤穂、味野、尾道
		山	赤穂、味野、尾道
		市	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養
		屋	赤穂、味野、尾道
		野	赤穂、味野、尾道
		木	赤穂、味野、尾道
		湯	尾道、三田尻、阪出
			尾道、三田尻

一 本年度運送請負契約上引取竝ニ引渡遅延ノ懈怠金一錢ヲ八厘ニ低減シタルハ出來得ル限り運賃ヲ低減セシムル必要上之ト交換的ニ兼テ請負人申請ノ一部ヲ容レタルモノナレトモ之カ爲メ將來鹽ノ引取引渡上等ニ付荷モ請負人ノ怠慢不注意等ヲ助成セシムルカ如キコトナキ様特ニ注意スルコト

二 本年度契約運賃ハ海運界好況ノ結果前年度ニ比シ異常ノ引上ヲ來シタルニ付テハ今後ノ實績運賃ニ關シテハ特ニ留意シ常ニ各般ノ資料ニ基キ調査ヲ怠ラサルハ勿論尙海運界ノ狀況運賃ノ變動等ニ付重要ノ事項ハ其時々本局ニ報告スルコト

三 請負人ニ對シ當該局所ヨリ運送命令ヲ發シタル後已ニ積載船舶ノ船練決定セルモノニ對シ從來往々其命令ノ全部又ハ一部ヲ取消サレ爲メニ請負人ノ損害尠カラサル旨申出ノ次第アリ就テハ右等ノ場合ニ付テハ今後篤ト船練狀況ヲ確メ請負人ヲシテ無用ノ失費ヲ負ハシメサル様注意スルコト

四 神戸港ニ於テ日本郵船會社ノ船舶ニ積替託送スヘキ仙臺方面行ノ回送鹽ニ付同港ニ於ケル郵船會社ノ船練又ハ積荷等ノ都合ニ因リ積込遅延ニ依テ延著ヲ生シタル場合ニ於テハ神戸支局ニ於テ右ニ關シ事實ヲ證明シタル場合ニ限り請負人ノ責任ヲ免除スルヲ得ルコト

大正二年六月專賣局官制改正ニ伴ヒ左ノ如ク改定シタリ
 專賣局長官達甲第一二號 (大正二年六月二十三日)
 鹽回送規程第一條ニ依リ鹽ノ回送區間ヲ左ノ通相定ム

熊 大島	安須下	高 三	阪 三	門 濱
分	原	本	藝	崎
味野、三田尻、阪出	三田尻	味野、三田尻、阪出	撫養	撫養
阪出、熊本	三田尻	阪出	撫養	撫養
鹿長 島崎	那福	阿久	淡南	東
細宮	那福	阿久	淡南	東
島崎	那福	阿久	淡南	東
三田尻	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻
阪出、熊本	三田尻	三田尻	三田尻	三田尻

仙郡 宮鹽	松 辰	新 夷	直 甲	淺 浦
古	釜	臺	山	野
神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島
神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島
青 八	土 酒	函 樽	小 樽	劍 路
森	崎	館	樽	路
三田尻、阪出	廣島、三田尻、阪出	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻、阪出	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島
三田尻	廣島、三田尻	廣島、三田尻	岡山、三田尻、阪出、德島	岡山、三田尻、阪出、德島

<p>回送先官署及引渡場所</p>	<p>發送元官署</p>	<p>回送先官署及引渡場所</p>	<p>發送元官署</p>
<p>金澤 岡山、廣島 伏木 岡山、廣島、三田尻、阪出 敦賀 神戶、廣島、三田尻 福井 神戶、廣島 大塚 神戶、岡山、阪出、德島 米塚 神戶、岡山、阪出、德島 三濱 岡山、三田尻 高津 岡山、三田尻 三濱 三田尻 安須田 阪出 藝德島</p>	<p>門司 岡山、三田尻、阪出 大分 阪出、福岡 熊本 三田尻 島原 岡山、三田尻、阪出 鹿島 三田尻 東原 三田尻、阪出 湊南 三田尻、阪出 阿久根 三田尻、阪出 那福島 三田尻、阪出 宮崎 三田尻、阪出 細島 阪出、福岡</p>	<p>岡山、三田尻、阪出 阪出、福岡 三田尻 岡山、三田尻、阪出 三田尻 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 阪出、福岡</p>	<p>岡山、三田尻、阪出 阪出、福岡 三田尻 岡山、三田尻、阪出 三田尻 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 三田尻、阪出 阪出、福岡</p>

專賣局長官達甲第一三號 (大正二年六月二十三日)
鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正ス
第一條表ヲ左ノ如ク改ム

<p>鹽販賣官署名</p>	<p>引渡場所</p>	<p>鹽販賣官署名</p>	<p>引渡場所</p>
<p>淺草專賣支局 淺草專賣支局 淺草專賣支局 仙臺專賣支局 仙臺專賣支局 仙臺專賣支局 高崎專賣支局 高崎專賣支局 名古屋專賣支局 大阪專賣支局</p>	<p>神奈川縣三浦郡浦賀町 福島縣石城郡平町 山梨縣甲府市 巖手縣下閉伊郡宮古町 青森縣三戸郡八戸町 長野縣上伊那郡伊那富村辰野 岐阜縣岐阜市 大阪府堺市</p>	<p>岡山專賣支局 岡山專賣支局 岡山專賣支局 德島專賣支局 德島專賣支局 德島專賣支局 德島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局 鹿兒島專賣支局</p>	<p>鳥取縣西伯郡境町 島根縣那賀郡濱田町 高知縣幡多郡下田村 高知縣高岡郡須崎町 高知縣安藝郡安藝町 鹿兒島縣川邊郡東南方村 鹿兒島縣日置郡西市來村湊町 鹿兒島縣出水郡阿久根村</p>

山口縣大津阿武兩郡地方ハ日本海外洋ニ接シ冬季間海運不如意ナルニ該季節ハ恰モ漁業用トシテ不時ニ多量ノ鹽ヲ要スルコトアルカ爲從來供給鹽ノ缺乏ヲ來シタル場合少カラス依テ之カ救濟ノ爲當該地方供給利便ノ地位ヲ占ムル萩町ヲ引渡場所ニ指定スルノ必要ヲ認メ回送鹽引渡手續及回送區間ヲ左ノ如ク改定シタリ

專賣局長官達甲第一八四〇號 (大正二年十一月十一日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正シ大正二年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中

岡山專賣支局米子出張所

島根縣那賀郡濱田町

次ニ左ノ一欄ヲ加ヘ

鹿兒島專賣支局

鹿兒島縣出水郡阿久根村

ヲ削ル

三田尻專賣支局

山口縣阿武郡萩町

專賣局長官達甲第一八四〇號ノ二 (大正二年十一月十一日)

鹽回送規程第一條ニ依リ定メタル鹽ノ回送區間中左ノ通改正シ大正二年十一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

三津濱

阪出

次ニ左ノ一欄ヲ加フ

三田尻

萩

三田尻

第二節 回送ノ方法

鹽ノ非產地ニ對シ政府カ鹽ノ回送ヲ爲スコトハ已ニ述ヘタル如シ而シテ各地方ニ消費セララル鹽ハ古來ノ慣例上其ノ產地自ラ一定セルモノアルヲ以テ斯ル嗜好ノ關係ヲ認ムルト同時ニ運賃ノ高低ヲ參酌シテ鹽ノ發送元及回送先官署ヲ一定シ明治四十一年六月迄ハ該關係官署間ニ於テ